

# **DVStorm 3**

セットアップマニュアル

**canopus**

## ご使用の前に

### ■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。



### 注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

### ■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意ください。ご使用いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノーブス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノーブス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL. 078-992-6830

土日祝日および当社指定休日を除く

10:00~12:00、13:00~17:00



### 警告



#### ●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。



#### ●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま、製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。

また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにパソコン本体や周辺機器の筐体（電源ユニットなど）、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。



#### ●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください（体内の静電気を放電することになります）。



### 注意



#### ●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧ください。メーカーに直接お問い合わせいただいております。



#### ●他社製品と併用される際の注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



#### ●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けしてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。

製品を取り付けたり取り外したりするとき  
は、製品全体を軽く包み込むようにお持ちく  
ださい。

動作中の製品は熱により非常に熱くなりま  
す。長時間使用した製品に手を触れる際に  
は、十分にご注意ください。

## ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/カノープス、DVStorm 3 およびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) DVStorm 3、StormEncoder、EDIUS、Xplode、MpegCraft、StormBayはカノープス株式会社の登録商標です。
- (9) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。QuickTimeは米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。Adobe、Adobeロゴ、After Effects、PhotoshopおよびPremiereはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。LightWave 3Dは、米国NewTek社の登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

## 表記について

- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。画面写真は開発中のものです。

■ 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができ  
る方を対象に書かれています。特に記載の無い操  
作については、一般的なパソコンの操作と同じよ  
うに行ってください。

■ 本書ではMicrosoft® Windows® 2000 operating system、お  
よびMicrosoft® Windows® XP operating systemをWindows  
2000、Windows XPと表記します。

## 警告

### ■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

### ■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

- (1) 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- (2) 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- (3) 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- (4) 本製品は、コピーガード信号付映像素材の入力を行うことができません。

DVStorm 3  
セットアップマニュアル  
Version 1.1J  
October 24, 2003  
Copyright © 2002-2003 Canopus Co., Ltd.  
All rights reserved.



# 目次

<b>CHAPTER1 確認</b> .....	<b>1</b>
はじめに .....	2
使用許諾契約書について .....	2
パッケージ内容の確認 .....	2
■ DVStorm 3 同梱物 .....	2
使用に当たっての留意事項 .....	3
動作環境の確認 .....	4
パソコン本体について .....	4
■ 必要な動作環境 .....	4
対応 OS 環境 .....	4
割込み (IRQ) について .....	5
■ 割り込み (IRQ) の確認 (Windows 2000 の場合) .....	5
■ 割り込み (IRQ) の確認 (Windows XP の場合) .....	6
当社ホームページについて .....	7
オンラインユーザー登録について .....	7
制限事項について .....	7
■ 著作権保護信号について .....	7
<b>CHAPTER2 ボードの装着</b> .....	<b>9</b>
ボードの装着 .....	10
装着の手順 .....	10
装着の手順 (StormBay を使用する場合) .....	12
■ StormBay 同梱物 .....	12
<b>CHAPTER3 インストール</b> .....	<b>15</b>
インストールの前に .....	16
CD-ROM の構成 .....	16
インストールの概要 .....	17
インストールの流れ .....	17
アプリケーションの概要 .....	18

ドライバのインストール .....	20
ドライバのインストール(Windows 2000 の場合) .....	20
ドライバのインストール(Windows XP の場合) .....	22
EDIUS LE のインストール .....	24
ランチャを使う .....	27
ランチャを起動する .....	27
ランチャを閉じる .....	28
MpegCraft LE のインストール .....	29
MpegCraft LE をインストールする .....	29
DVStorm プラグインのセットアップ .....	32
Adobe Premiere Pro 追加トランジションをインストールする .....	32
Video-out プラグインをインストールする .....	36
Adobe Premiere Pro プラグインをインストールする .....	38
ACID Music のインストール .....	41
ACID Music をインストールする .....	41
COOL 3D のセットアップ .....	44
COOL 3D をインストールする .....	44
DVDWorkshop SE のインストール .....	47
DVDWorkshop SE をインストールする .....	47
インストール後の確認 .....	50
■インストールの確認(Windows 2000 の場合) .....	50
■インストールの確認(Windows XP の場合) .....	50
■リソースの競合の確認 .....	51
■リソース(割り込み)の変更 .....	51
Storm Test による動作確認 .....	52
EDIUS LE のアンインストール .....	54

## CHAPTER 4 各部の名称と端子の接続例 . . . . 55

各部の名称と機能 .....	56
DVStorm 3 ボード リアパネル .....	56
コンポーネント出力ボード リアルパネル .....	57
StormBay フロントパネル .....	58
接続 .....	59

ビデオ入力端子の接続例 .....	59
ビデオ出力端子の接続例 .....	59
オーディオ入力端子の接続例 .....	60
DV端子の接続例 .....	60
オーディオ出力端子の接続例 .....	61
StormBayのビデオ入力端子の接続例 .....	61
StormBayのビデオ出力端子の接続例 .....	62
StormBayのオーディオ入力端子の接続例 .....	62
StormBayのDV端子の接続例 .....	63
StormBayのオーディオ出力端子の接続例 .....	63

## **CHAPTER5 アプリケーションソフト ..... 65**

Video-out プラグインの使い方 .....	66
Adobe After Effects Video-out プラグイン .....	66
Adobe Photoshop Video-out プラグイン .....	67
NewTek LightWave 3D Video-out プラグイン .....	68
省電力モードへの対応 .....	72

## **CHAPTER6 Adobe Premiere Pro で使う .... 73**

はじめに .....	74
制限・注意事項について .....	74
Adobe Premiere Pro プラグインのご注意 .....	74
リアルタイム可能な再評価についてのご注意 .....	76
テープへ出力 (Sync Rec) についてのご注意 .....	76
Adobe Premiere Proの準備 .....	77
Adobe Premiere Proの起動と初期設定 .....	77
DVStorm 3ボードのプロパティを設定する .....	81
ビデオクリップを配置する .....	86
ビデオエフェクトの使い方 .....	88
ビデオエフェクトを適用する .....	88
Canopus Title Motion Filter を使う .....	91

Canopus Video Filter を使う .....	92
ビデオトランジションの使い方 .....	94
ビデオトランジションを適用する .....	94
Canopus Transition を使う .....	98
Canopus 3D RT 3D を使う.....	99
Canopus 3D RT Filter を使う .....	99
Xplode DVStorm を使う.....	100

## **CHAPTER7 APPENDIX..... 103**

ハードウェア仕様一覧.....	104
-----------------	-----



# CHAPTER 1

## 確認

この章では、DVStorm 3のセットアップを行う前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

- はじめに
- 動作環境の確認

# はじめに

## 使用許諾契約書について

DVStorm 3をご購入いただき、ありがとうございます。本製品をお使いいただくにあたって、まずはじめに付属の『Support Service Manual』のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。本製品に付属のソフトウェアをご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。この使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、本書以外のパッケージを開封せずに下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

このソフトウェア使用許諾契約は、お客様がディスクが入っている封筒を開封された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノーブス カスタマーサポート  
〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2 カノーブス株式会社

## パッケージ内容の確認

DVStorm 3のパッケージの中に下記の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

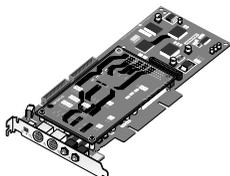
カノーブス カスタマーサポート  
電話：078-992-5846 (※月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00 土日祝日および当社指定休日を除く)

### ■ DVStorm 3 同梱物

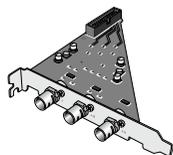
DVStorm 3 ボード

StormEncoder

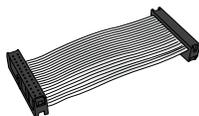
※DVDモデルのみ (DVStorm ボードに装着済み)



コンポーネント出力ボード



コンポーネント出力ボード接続ケーブル



DVケーブル(4pin-4pin)



アナログ端子変換ケーブル(X2)



オーディオ端子変換ケーブル(X2)



ガスケット(X1)

### □ ディスク

DVStorm 3をお使いいただくためのドライバやアプリケーションなどが付属しています。これらは、封筒の中に収められています。この封筒を開封する前に、別途付属している『Support Service Manual』の中のソフトウェア使用許諾契約の項目をお読みください。

### □ マニュアル

- DVStorm 3セットアップマニュアル（本書）
- EDIUS リファレンスマニュアル
- MpegCraft ユーザーズマニュアル
- Support Service Manual

### □ ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼保証書

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください（ご登録いただけていない場合には、一部のサービスについてお受けいただけないものがございます）。当社よりご提供させていただいているサービスについては『Support Service Manual』をご覧ください。

ユーザー登録カードの各項目に必要事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離したユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくは『Support Service Manual』およびオンラインユーザー登録ページ（<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>）をご覧ください。

本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要になります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

## 使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

## 動作環境の確認

本製品をお使いいただく前に、パソコン本体がDVStorm 3ボードを装着してご使用いただける環境が整っていることを確認してください。

### パソコン本体について

以下の条件を満たしている場合でもパソコン本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下に書かれている条件を満たしているすべてのパソコンでの動作を保証しているものではありません。

#### ■ 必要な動作環境

本製品をお使いいただくために最低限必要な環境です。

- ・ Intel Pentium 4 1.7GHz 以上のCPUを搭載  
(Intel Pentium 4 2.4GHz 以上を推奨)
  - ・ 256MB 以上のメモリを搭載
  - ・ CD-ROM ドライブ(ドライバおよびアプリケーションのインストールに使用)
  - ・ 1024x768 ドット HighColor 以上を表示でき、DirectDraw のオフスクリーンによるオーバーレイに対応したグラフィックボードを推奨
  - ・ 空きPCI バススロット(PCI Ver. 2.1 以上)x2
- ※ データ格納用にはUltra Wide SCSI またはUltra ATA 33 以上で接続のドライブをシステムとは別ドライブとして用意することを推奨。録画時間1分当たり約230MBのハードディスク容量が必要です。

### 対応 OS 環境

- マイクロソフト Windows 2000 Professional 日本語版
- マイクロソフト Windows XP Home Edition 日本語版
- マイクロソフト Windows XP Professional 日本語版

- ・ Administrator 権限をもつユーザーでログオンした場合のみ動作を保証します。他の権限(USER、Guest)のユーザーでログオンした場合には、正しく動作しないことがあります。
- ・ プラグインについては対象アプリケーションの対応OSについてサポートします。

## 割り込み (IRQ) について

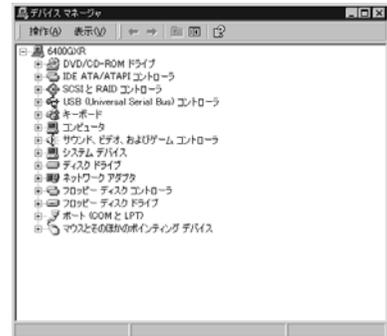
DVStorm 3ボードは、割り込み(IRQ)を1つ使用します。すべての割り込み番号が使用されている場合は、使用していない機器を取り外すか無効にするなどして、割り込み番号の空きを作るようにしてください。設定方法はパソコン本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書にてご確認ください。

### ■ 割り込み(IRQ)の確認(Windows 2000の場合)

1

[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックし、[システムのプロパティ]を表示してください。

→ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。



2

デバイスマネージャの[表示]メニューから[リソース(種類別もしくは接続別)]を選択してください。



3

[割り込み要求(IRQ)]をダブルクリックしてください。

→ 割り込み(IRQ)の空いている(使用されていない)番号を確認します。





## 当社ホームページについて

DVStorm 3をはじめとする当社最新情報をホームページ(<http://www.canopus.co.jp>)にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル(PDF形式)、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただき、快適なパソコン環境を実現してください。

## オンラインユーザー登録について

お客様がインターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録カードをご投函いただくなくとも当社ホームページ上でユーザー登録を行うことができます。オンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)にアクセスしていただき、是非ご登録ください。

## 制限事項について

DVStorm 3をご使用いただくにあたり、以下の制限事項がありますのであらかじめご確認ください。また、各アプリケーションの『Readme.txt』などのテキストファイルにはマニュアルに記載されていない事項などが記述されている場合がありますので必ずお読みください。

### ■ 著作権保護信号について

著作権保護信号が付加されたビデオ信号の入力時、もしくは非標準ビデオ信号の入力時にはキャプチャしたデータやアナログビデオ出力がグレーになります。これは、コピーガードがかかった映像媒体や非標準の信号を正常にキャプチャできないため、強制的にグレーアウトするようになっているからです。コンシューマーのゲーム機が出力する信号のキャプチャは可能ですが、ソフトウェアのタイトルによっては同期がとれない可能性があります。

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作権者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。



## CHAPTER2

# ボードの装着

この章では、DVStorm 3ボードをパソコンへ装着する方法について説明します。

- ・ボードの装着

# ボードの装着

ボードの装着を行う前に、作業を行うことができるほどの無い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバー、マイナスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。オプションのStormBay(別売)を装着する場合は、p.12『装着の手順(StormBayを使用する場合)』へ進んでください。

## 装着の手順

1

パソコンを終了して電源を切ってください。

2

電源ケーブルなどのケーブル類を取り外してください。



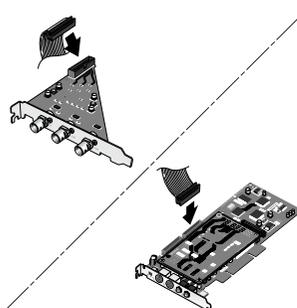
取り外す際に、どのケーブルがどのコネクタに接続されていたか、メモをしておくと後で元に戻す際に便利です。

3

コンポーネント出力ボード接続ケーブルを使用して、DVStorm 3 ボードとコンポーネント出力ボードを接続してください。

→ DVStorm 3 ボードの 26pin 端子に接続してください。

※ 端子の接続は、オス端子側の凸部とメス端子側の凹部がきちんとはまるように接続してください。



DVStorm 3 ボードを単体で使用しないでください。必ずコンポーネント出力ボードと接続した状態で使用してください。



必要に応じてDVStorm 3 ボードのブラケット外側(端子が付いている金属部)にノイズ対策用のガスケットを装着してください。

4

パソコンのカバーを取り外してください。

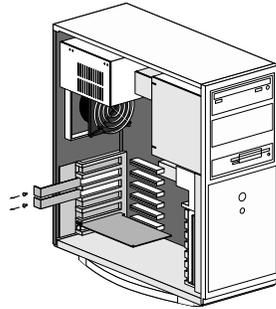
→ 取り外し方については、パソコン本体に付属のマニュアルをご参照ください。

5

PCIスロットのカバーを2個取り外してください。

→ DVStorm 3 ボードはPCI用のボードですので、PCIコネクタに装着します。ドライバーを使用してPCIコネクタの位置のスロットカバーを固定しているねじを取り外してください。

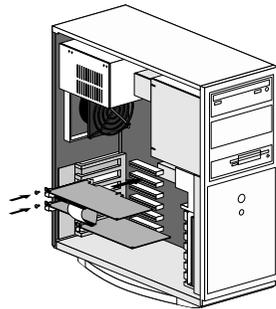
- ※ 取り外したねじは手順7で使用しますので、空き箱になくさないように入れておいてください。
- ※ 取り外したスロットカバーは使用しませんので、なくさないように保存してください。



6

DVStorm 3 ボードをPCIスロットに差し込んでください。

→ DVStorm 3 ボードは通常簡単にスロットに差し込むことができます。何かに引っかかってうまく差し込むことができない場合には、無理に押し込まないようにしてください。この場合、DVStorm 3 ボードをいったん取り外して、引っかかる原因を確認してみてください。また、違うスロットへの装着を試してください。



どうしても何かに引っかかって装着することができない場合には、物理的な問題でDVStorm 3 ボードを使用することはできません。DVStorm 3 ボードはPCIの規格によって設計されているボードですので、パソコン本体に何らかの問題がある可能性があります。この場合には一度パソコン本体メーカーまたはマザーボードメーカーまで対策をご相談ください。ボード破損のおそれがあるため、DVStorm 3 ボード装着時には、必要以上にボード上の部品類に力を掛けないでください。

参照

DVStorm 3 ボード表面にあるジャンプスイッチについては、p. 13 手順6を参照してください(使用するDV端子を内部もしくは外部に切り替えるためのスイッチです)。

7

手順5で取り外したねじを使用して、DVStorm 3 ボードおよびコンポーネント出力ボードのブラケットを固定してください。

8

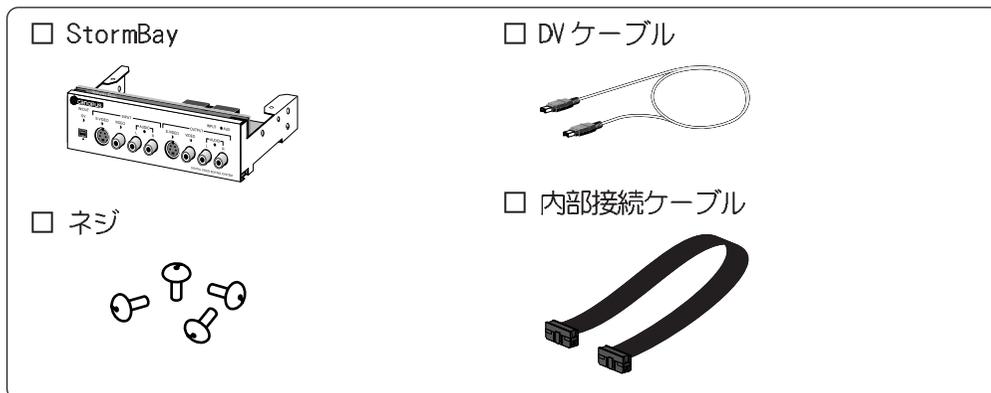
パソコンのカバーを閉じ、電源ケーブルなどのケーブル類を元通りに接続してください。

参照

外部機器との接続については、p. 59を参照してください。

**装着の手順(StormBayを使用する場合)**

StormBayはDVStorm 3ボードとビデオ機器との接続をパソコンの前面で行うために、パソコンの5インチベイに装着して使用するオプションユニット(別売)です。

**■ StormBay 同梱物****1**

パソコンを終了して電源を切ってください。

**2**

電源ケーブルなどのケーブル類を取り外してください。



取り外す際に、どのケーブルがどのコネクタに接続されていたか、メモをしておくとも後で元に戻す際に便利です。

**3**

パソコンのカバーを取り外してください。

→ 取り外し方については、パソコン本体に付属のマニュアルをご参照ください。

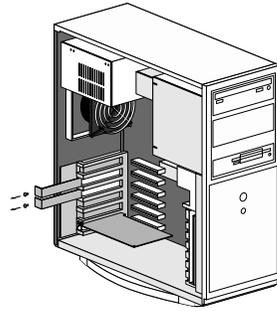
4

PCIスロットのカバーを2個取り外してください。

→ DVStorm 3 ボードはPCI用のボードですので、PCIコネクタに装着します。ドライバーを使用してPCIコネクタの位置のスロットカバーを固定しているねじを取り外してください。

※ 取り外したねじは手順8で使用しますので、なくさないようにしてください。

※ 取り外したスロットカバーは使用しませんので、なくさないように保存してください。



DVStorm 3 ボードとStormBayの位置が離れすぎていると、付属の内部接続ケーブルが接続できない場合がありますので、ケーブルの長さを確認し、装着するスロットを決定してください。

参照

DVStorm 3 ボードとコンポーネント出力ボードの接続方法については、p. 10 手順3を参照してください。

5

StormBayを装着する5インチベイのカバーを取り外してください。

→ 取り外し方については、パソコン本体に付属のマニュアルをご参照ください。

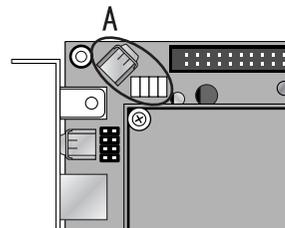
6

DVStorm 3ボード表面にある内部DV端子を使用するために、ジャンプスイッチをイラストAの状態のように切り替えてください(内部DV端子側からのDV入出力が可能になります)。4本のジャンパピン(プラスチック製の部品)をイラストA側の位置に装着すると切り替わります。

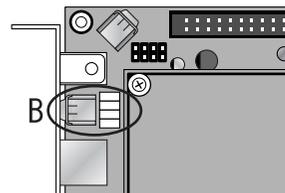
※ 製品出荷時のジャンパピンの位置は、イラストBの状態になっています。

※ ジャンパピンは、ラジオペンチやピンセットなど先の細い工具を使用して1本ずつ取り外してください。

→ リアパネル側にある外部DV端子からDV入出力を行う場合は、イラストBの状態にジャンプスイッチを切り替えてください(外部DV端子側からのDV入出力が可能になります)。



内部DV端子を使用する場合



外部DV端子を使用する場合



DV端子は、内部もしくは外部のいずれか片側の排他的使用になります。両方のコネクタから同時にDV入出力を行うことはできません(ジャンプスイッチで選択されているDV端子からのみDV入出力が可能です)。

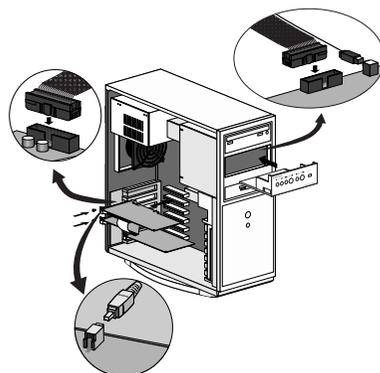
7

DVStorm 3 ボードを PCI スロットに差し込み、StormBay を 5 インチベイに装着してください。

→ DVStorm 3 ボードは通常簡単にスロットに差し込むことができます。何かに引っかかってうまく差し込むことができない場合には、無理に押し込まないようにしてください。この場合、DVStorm 3 ボードをいったん取り外して、引っかかる原因を確認してみてください。また、違うスロットへの装着を試してください。

→ このとき、StormBay に付属の内部接続ケーブルおよび DV ケーブルを使用して DVStorm 3 ボードと接続してください。

※ StormBay をご使用いただく場合、StormBay と DVStorm 3 ボードとの内部接続を付属の DV ケーブルを使用して必ず行ってください。接続を行っていない場合、StormBay のフロントパネルに接続した DV 機器のコントロールは行えません。



どうしても何かに引っかかって装着することができない場合には、物理的な問題で DVStorm 3 ボードを使用することはできません。DVStorm 3 ボードは PCI の規格によって設計されているボードですので、パソコン本体に何らかの問題がある可能性があります。この場合には一度パソコン本体メーカーまたはマザーボードメーカーまで対策をご相談ください。ボード破損のおそれがあるため、DVStorm 3 ボード装着時には、必要以上にボード上の部品類に力を掛けないでください。

8

手順4で取り外したねじを使用して、DVStorm 3 ボードおよびコンポーネント出力ボードのブラケットを固定し、StormBay に付属しているねじを使用して、StormBay を 5 インチベイに固定してください。

9

パソコンのカバーを閉じ、電源ケーブルなどのケーブル類を元通りに接続してください。

参照

StormBay と外部機器との接続については、p. 61 以降を参照してください。

## CHAPTER3

# インストール

この章では、ドライバとアプリケーションのインストール方法について説明します。

- ・インストールの前に
- ・インストールの概要
- ・ドライバのインストール
- ・EDIUS LEのインストール
- ・ランチャを使う
- ・MoegCraft LEのインストール
- ・DVStorm プラグインのセットアップ
- ・ACID Musicのインストール
- ・COOL 3Dのセットアップ
- ・DVDWorkshop SEのインストール
- ・インストール後の確認
- ・Storm Testによる動作確認
- ・EDIUS LEのアンインストール

# インストールの前に

DVStorm 3用ドライバおよびDVStorm 3専用アプリケーションのインストールを行う前に以下の事項をご確認ください。

※ インストールおよびアンインストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。



- インストールする場合、システム設定の変更を行える資格を持つユーザー ID (Administrator、コンピュータの管理者等)でログインしてください。システムの変更を行えないユーザー ID では、インストール作業は行えません。
- Xplode Basics for EDIUS、またはXplode DVStormをご使用いただく場合は、解像度 1024x768 ドット 32ビット True Color 以上の環境が必要です。
- Adobe Premiere Pro プラグイン、Adobe After Effects Video-out プラグイン、Adobe Photoshop Video-out プラグイン、および NewTek LightWave 3D Video-out プラグインを使用する場合には、あらかじめ対応アプリケーションをそれぞれインストールしておく必要があります。
- Premiere Pro プラグインは Windows 2000 ではインストールできません。

## CD - ROM の構成

DVStorm 3のインストール作業に必要なCD-ROMの構成をご確認ください。

### EDIUS LE Installation CD

- |   |
|---|
| • DVStorm 3ボードのドライバ   |
| • EDIUS (EDIUS LE/EDIUS FX/ProCoder LE for EDIUS/Xplode Basics for EDIUS/Title Express for Canopus/Windows Media/QuickTime) |

### DVStorm 3 Application CD ※Premiere Pro プラグインは Windows 2000 ではインストールできません。

- |   |
|---|
| • MpegCraft LE  |
| • Adobe Premiere Pro対応ソフト (Adobe Premiere Proプラグイン/Canopus 3D RT/Canopus 3D RT Filter/Xplode DVStorm) |
| • Adobe After Effects Video-outプラグイン  |
| • Adobe Photoshop Video-outプラグイン  |
| • NewTek LightWave 3D Video-outプラグイン  |

### ACID Music CD

- |  |
|--|
| • Sonic Foundry ACID Music for Canopus |
|--|

### COOL3D Studio SE for Canopus CD

- |                                      |
|--------------------------------------|
| • Ulead COOL3D Studio SE for Canopus |
|--------------------------------------|

### DVDWorkshop SE CD ※DVD モデルのみ同梱されています。

- |                        |
|------------------------|
| • Ulead DVDWorkshop SE |
|------------------------|

# インストールの概要

## インストールの流れ

DVStorm 3はビデオ編集ソフトとしてEDIUS、またはAdobe Premiere Proに対応しています。ご使用の環境によってインストール手順が異なります。使用するビデオ編集ソフトを選択し、それぞれに対応したDVStorm 3梱包ソフトウェアのインストールを行います。

既にEDIUS、またはAdobe Premiere Proをお持ちの方は事前にインストールを行ってください。ビデオ編集ソフトをお持ちでない方は、下記のEDIUS用インストール手順に従って、DVStorm 3に同梱されているEDIUS LEをインストールしご使用ください。

また、Adobe After Effects、Adobe Photoshop、NewTek LightWave 3Dをお持ちの方は、それぞれのVideo-outプラグインをインストールすることができます。これらのソフトウェアを事前にインストールしてください。

※ 本製品のインストーラーは対応ソフトウェアの有無を自動判断してインストールを促します。該当ソフトウェアがインストールされていない場合、インストーラーはインストール手順をスキップします。

※ Premiere Pro プラグインはWindows 2000ではインストールできません。

### EDIUS LEをご使用になる場合

パソコンの電源をONにし、『EDIUS LE Installation CD』をCD-ROMドライブにセットします。

ハードウェアのドライバをインストールします  
 >>『EDIUS LE Installation CD』を使用 →p.20

EDIUS LEをインストールします  
 >>『EDIUS LE Installation CD』を使用 →p.24

MpegCraft LEをインストールします  
 >>『DVStorm 3 Application CD』を使用 →p.29

### Adobe Premiere Proをご使用になる場合

パソコンの電源をONにし、『EDIUS LE Installation CD』をCD-ROMドライブにセットします。

ハードウェアのドライバをインストールします  
 >>『EDIUS LE Installation CD』を使用 →p.20

MpegCraft LEをインストールします  
 >>『DVStorm 3 Application CD』を使用 →p.29

Adobe Premiere Proプラグインをインストールします。  
 >>『DVStorm 3 Application CD』を使用 →p.32

### 各種アプリケーションソフトのインストール

DVStorm 3が対応している各種アプリケーションソフトを、好みに応じてインストールします。

- ◇Video-outプラグインをインストールします  
 >>『DVStorm 3 Application CD』を使用 →p.36
  - Adobe After Effects Video-outプラグイン
  - Adobe Photoshop Video-outプラグイン
  - NewTek LightWave 3D Video-outプラグイン
- ◇Sonic Foundry ACID Musicをインストールします。  
 >>『ACID Music CD』を使用→p.41
- ◇Ulead COOL3D Studio SE for Canopusをインストールします  
 >>『COOL3D Studio SE for Canopus CD』を使用→p.44  
 ※COOL3D Studio SE for Canopusはサポート対象外です。
- ◇Ulead DVDWorkshop SEをインストールします  
 >>『DVDWorkshop SE CD』を使用→p.47  
 ※DVDモデルのみ同梱されています。

## アプリケーションの概要

DVStorm 3のドライバ、アプリケーションのインストールを行います。CD-ROMの自動再生の設定を行っている環境では、DVStorm 3の『EDIUS LE Installation CD』、『DVStorm 3 Application CD』をCD-ROMドライブにセットすると、ランチャが自動起動します。

### ■ EDIUS →p.24

『EDIUS LE Installation CD』のランチャを使用してEDIUSをインストールすると、DVStorm 3の操作に必要な基本ソフトが一括でインストールされます。

#### ◇ EDIUS LE

リアルタイムビデオ編集ソフト。ハードウェアの性能を最大限に活用し、快適にビデオ編集を行うことができます。

#### ◇ EDIUS FX/Xplode Basics for EDIUS

リアルタイム2D & 3Dランジションを利用することができます。

#### ◇ ProCoder LE for EDIUS

ビデオ形式変換ソフト。高品質、高画質なビデオフォーマットの変換を実現します。

#### ◇ Title Express for Canopus

タイトルジェネレータ。3Dビデオタイトルを簡単に作成することができます。サイレントインストールされます。

#### ◇ Windows Media

「.wmv」「.asf」などのWindowsでよく使用されるビデオフォーマットWindows Mediaに対応することができます。自動的にインストールされます（サイレントインストール）。

#### ◇ QuickTime

Macintoshでよく使用されるビデオフォーマットQuickTimeに対応することができます。自動的にインストールされます（サイレントインストール）。

## 注 意

### EDIUS LEの再インストールは必ず再起動の後に行ってください

EDIUS LEのアンインストール後、再起動を要求するダイアログが表示されますので、コンピュータを再起動してください。EDIUS LEの再インストールを行う場合は、必ず再起動後に行ってください。

## ■ MpegCraft LE →p.29

Mpeg1、2形式ビデオ編集ソフト。Mpegビデオをフレーム単位、GOP単位で編集することができます。

## ■ Adobe Premiere Proプラグイン →p.32

DVStorm 3をリアルタイムビデオ編集ソフト Adobe Premiere Proと連携して動作させるためのプラグインです。2D&3DトランジションツールXplode DVStormなど、Adobe Premiere Proに機能を付加する各種ソフトウェアも同時にインストールされます。

## ■ Video-outプラグイン →p.36

対応したアプリケーションソフトのコンポジション映像、静止画、モデリング画像/アニメーション映像を出力することができます。

◇ Adobe After Effects Video-outプラグイン

◇ Adobe Photoshop Video-outプラグイン

◇ NewTek LightWave 3D Video-outプラグイン



- Adobe After Effects Video-outプラグインをインストールする前にAdobe After Effectsのインストールを行ってください。
- Adobe Photoshop Video-outプラグインをインストール前にAdobe Photoshop 7.0またはAdobe Photoshop Elementsのインストールを行ってください。
- NewTek LightWave 3D Video-outプラグインをインストールする前にNewTek LightWave 3Dのインストールを行ってください。

## ■ Sonic Foundry ACID Music →p.41

オーディオループシーケンサ。ビデオのバックミュージックとして便利なループ再生するオーディオトラックを作成することができます。

## ■ Ulead COOL3D Studio SE for Canopus →p.44

3Dタイトル作成ソフト。ツイスト、爆発など特殊効果のある3Dタイトル文字を作成することができます。

## ■ Ulead DVDWorkshop SE →p.47

DVDオーサリングソフト。StormEncoderと連携してDVDビデオファイルにエンコードすることができます。

※DVDモデルのみ同梱されています。

# ドライバのインストール

## ドライバのインストール(Windows 2000 の場合)

Windows 2000環境では、ボードを装着してパソコンを起動すると、ハードウェアが認識され自動的にドライバのインストールが開始されます。

1

Windows 2000 を起動してください。

→ [新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示されます。

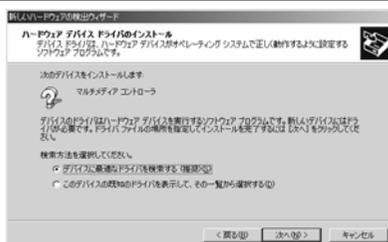
2

『EDIUS LE Installation CD』をCD-ROMドライブにセットし、[次へ]をクリックしてください。



3

[デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]にチェックを付け、[次へ]をクリックしてください。



4

[CD-ROM ドライブ] をチェックし、[次へ]をクリックしてください。

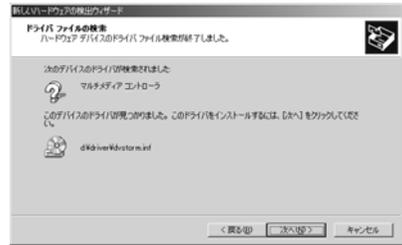
※ [CD-ROM ドライブ] 以外のチェックは外してください。

→ ドライバの場所を検索します。



5

[次へ]をクリックしてください。



6

[デジタル署名が見つかりませんでした]というダイアログが表示されますが、[はい]をクリックしてください。



[デジタル署名が見つかりませんでした]というダイアログが表示された時に[はい]が表示されない場合は、以下の手順でドライバ署名のオプションを変更してください。



1. コントロールパネルの[システム]をダブルクリックします。
2. [ハードウェア]タブにある[ドライバの署名]をクリックします。
3. [ファイルの署名の確認]を[警告]に変更し、[OK]をクリックします。

※ドライバのインストール後は、設定を元に戻してください。

7

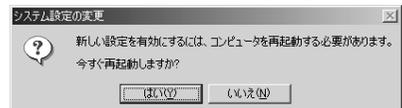
[完了]をクリックしてください。



8

設定を有効にするためにコンピュータの再起動を要求してきますので、[はい]をクリックしてください。

→ コンピュータを再起動します。



以上でWindows 2000環境へのドライバのインストールは終了です。

## ドライバのインストール(Windows XP の場合)

Windows XP環境では、ボードを装着してパソコンを起動すると、ハードウェアが認識され自動的にドライバのインストールが開始されます。

1

Windows XPを起動してください。

→ [新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示されます。

2

『EDIUS LE Installation CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

3

[ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]にチェックを付け、[次へ]をクリックしてください。

→ ドライバの場所を検索します。



4

[続行]をクリックしてください。



5

[完了]をクリックしてください。



6

設定を有効にするためにコンピュータの再起動を要求してきますので、[はい]をクリックしてください。

→ コンピュータを再起動します。



以上でWindows XP環境へのドライバのインストールは終了です。

# EDIUS LE のインストール

EDIUS LEとその対応アプリケーションソフトを一括でインストールします。ここでインストールするアプリケーションソフトはEDIUS LE、EDIUS FX、ProCoder LE for EDIUS、Xplode Basics for EDIUS、Title Express for Canopus、Windows Media、QuickTimeです。Windows XPでの手順を例に説明します。

※ ProCoder LE for EDIUS、Title Express for Canopus、Windows Media、QuickTimeはサイレントインストールされます。

1

『EDIUS LE Installation CD』をパソコンのCD-ROMドライブにセットします。  
→ランチャが自動で起動します。



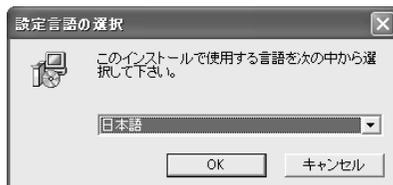
2

[インストール] をクリックします。



3

[日本語] が選択されていることを確認し、  
[OK] をクリックします。



4

[次へ] をクリックします。



5

[はい] をクリックします。



6

ユーザ名、会社名、シリアル番号を入力し、[次へ] をクリックします。

※ ご使用のコンピュータが個人使用の場合は、「会社名」の欄に任意の文字を入力してください。シリアル番号はキーコードシールに記載されています。



7

日本で使用する場合は [NTSC] が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。



8

[次へ] をクリックします。インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックしてインストール先を指定します。



9

[次へ] をクリックします。



10

[次へ] をクリックします。

→ファイルのコピーを開始します。EDIUS LE をはじめ、基本的なパッケージソフトが一括でインストールされます。



11

[完了] をクリックします。

→基本的なソフトウェアのインストールが完了しました。



# ランチャを使う

## ランチャを起動する

DVStorm 3のドライバ、アプリケーションのインストールを行います。CD-ROMの自動再生の設定を行っている環境ではランチャが自動起動します。自動起動しない場合は、CD-ROM内の[Lancher.exe]をダブルクリックしてください。

**1**

『DVStorm 3 Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

**2**

DVStormのランチャが起動します。



## ランチャを閉じる

DVStorm 3のドライバ、アプリケーションのインストール完了後、ランチャを閉じることができます。

1

DVStormのランチャの右の[閉じる]をクリックしてください。

→ ランチャが閉じます。



# MpegCraft LE のインストール

## MpegCraft LE をインストールする

MpegCraft LE のインストールを行います。

→ 『DVStorm 3 Application CD』を使用します。

※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

### 1

ランチャの [DVStorm セットアップ] をクリックしてください。



### 2

[次へ] をクリックしてください。



### 3

使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みの上、同意される場合のみ [使用許諾契約の全条項に同意します] にチェックを付け、[次へ] をクリックしてください。使用許諾契約に同意されない場合は、[いいえ] をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



4

[次へ] をクリックしてください。

→インストール先のフォルダを変更する場合は [変更] をクリックし、フォルダを指定してください。



5

MpegCraft LEのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ] をクリックしてください。



6

[インストール] をクリックしてください。

→ファイルのコピーが開始されます。



7

[次へ] をクリックしてください。

※ [デスクトップにショートカットを作成する] にチェックを付けるとデスクトップにMpegCraft LEのショートカットが作成されます。

※Readmeにはマニュアルに記載されていない事項などが記述されていますので、インストールの時に必ずお読みください。



8

[次へ] をクリックしてください。



9

[完了] をクリックしてください。



10

Readmeが表示されます。[×] をクリックしてウィンドウを閉じてください。



11

[OK] をクリックしてください。



# DVStormプラグインのセットアップ

ご使用の各種アプリケーションソフトをDVStorm 3に対応させるためのプラグインのインストールを行います。Adobe Premiere Pro、Adobe After Effects、Adobe Photoshop (Adobe Photoshop Elements)、NewTek LightWave 3DをDVStorm 3に対応させてご使用したい場合にインストールを行ってください。

- ※ インストールを行う前にご使用になるアプリケーションソフトのインストールを行ってください。
- ※ インストーラーはアプリケーションソフトの有無を自動判別してインストール作業を促します。インストーラーの指示に従い、順次インストールすることで、DVStormプラグイン関連のインストールを一括で行うことができます。

## Adobe Premiere Pro 追加トランジションをインストールする

Adobe Premiere Proがインストールされている場合に、Adobe Premiere Proにトランジションなどの機能を追加するソフトウェアのインストールを行います。ここでインストールするアプリケーションソフトはCanopus 3DRT、Canopus 3D RT Filter、Xplode DVStormです。Premiere ProプラグインはWindows 2000ではインストールできません。

- ※ インストール終了後、続いて、Video-outプラグインのインストールへと移行します。

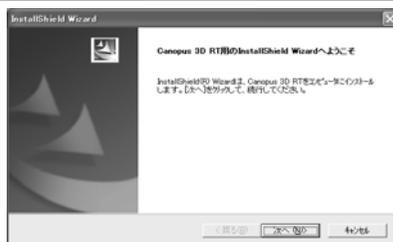
1

ランチャの [DVStorm プラグイン セットアップ] をクリックしてください。



2

[次へ] をクリックしてください。



3

使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みの上ソフトウェア使用許諾契約書に同意される場合のみ [はい] をクリックしてください。ソフトウェア使用許諾契約書に同意されない場合は、[いいえ] をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

- ※ソフトウェア使用許諾契約書に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



4

[ユーザ名] と [会社名] を入力し、[次へ] をクリックしてください。



5

[次へ] をクリックしてください。  
→インストール先のフォルダを変更する場合は「参照」をクリックし、フォルダを指定してください。



6

Common FilesとPremiere Proの両項目にチェックが入っていることを確認し、[次へ] をクリックしてください。



7

Canopus 3D RTのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ] をクリックしてください。  
→ファイルのコピーが開始されます。



8

[完了] をクリックしてください。  
→Canopus 3D RTのインストールが完了しました。  
続いて、Canopus 3D RT Filterのインストール作業へ移行します。



9

[次へ] をクリックしてください。



10

使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みの上ソフトウェア使用許諾契約書に同意される場合のみ [はい] をクリックしてください。ソフトウェア使用許諾契約書に同意されない場合は、[いいえ] をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※ソフトウェア使用許諾契約書に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



11

Common FilesとPremiere Proの両項目にチェックが入っていることを確認し、[次へ] をクリックしてください。

→ファイルのコピーが開始されます。



12

[完了] をクリックしてください。

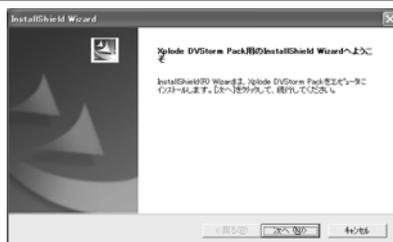
→Canopus 3D RT Filter のインストールが完了しました。続いて、Xplode DVStormのインストール作業へ移行します。

※Adobe Premiere Plug-inのインストール画面とXplode DVStormのインストール画面が続けて起動しますが、Adobe Premiere Plug-inのインストール画面は非アクティブ状態のまま放置し、アクティブになったXplode DVStormのインストール画面へ移行してください。



13

[次へ] をクリックしてください。



14

使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みの上ソフトウェア使用許諾契約書に同意される場合のみ [はい] をクリックしてください。ソフトウェア使用許諾契約書に同意されない場合は、[いいえ] をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※ソフトウェア使用許諾契約書に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



15

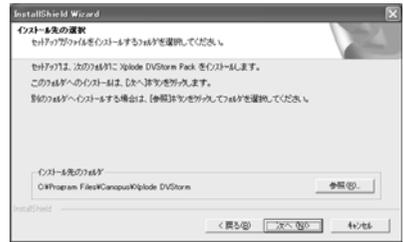
[ユーザ名] と [会社名] を入力し、[シリアル] にシリアル番号を入力してください。入力を完了したら [次へ] ボタンが選択可能になりますので、[次へ] をクリックしてください。



16

[次へ] をクリックしてください。

→インストール先のフォルダを変更する場合は [参照] をクリックし、フォルダを指定してください。



17

Common FilesとPremiere Proの両項目にチェックが入っていることを確認し、[次へ] をクリックしてください。



18

Xplode DVStormのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ] をクリックしてください。

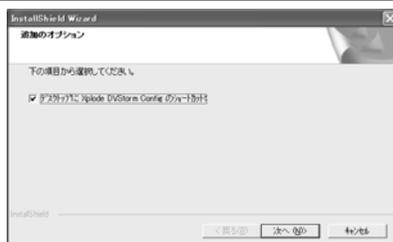
→ファイルのコピーが開始されます。



19

[次へ] をクリックしてください。

※ [デスクトップにXplode DVStormショートカットを作成する] にチェックを付けるとデスクトップにXplode DVStormのショートカットが作成されます。



20

[完了] をクリックしてください。

→ Xplode DVStormのインストールが完了しました。続いて、Video-outプラグインのインストール作業へ移行します。

※ [Xplode DVStorm Configを起動] にチェックを付けるとXplode DVStormのConfig設定画面が起動します。Config設定は、Xplode DVStormをご使用になる前に行ってください。インストール作業中は設定をカスタマイズする必要はありません。



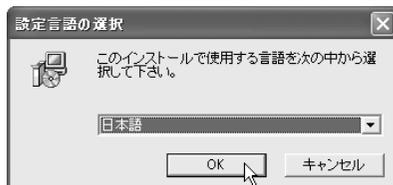
## Video-outプラグインをインストールする

Adobe After Effects Video-outプラグイン、Adobe Photoshop Video-outプラグイン、NewTek LightWave 3D Video-outプラグインのインストールを行います。Adobe After Effects、Adobe Photoshop (Adobe Photoshop Elements)、NewTek LightWave 3Dをお持ちの場合は、それぞれのインストールを行ってください。

※ インストール終了後、続いてAdobe Premiere Proプラグインのインストールへと移行します。

1

インストール時に使用する言語を選択し[OK]をクリックしてください。



2

[次へ]をクリックしてください。



3

使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[はい]をクリックしてください。使用許諾契約に同意されない場合は、[いいえ]をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



4

インストールするVideo-outプラグインを選択し、[次へ]をクリックしてください。

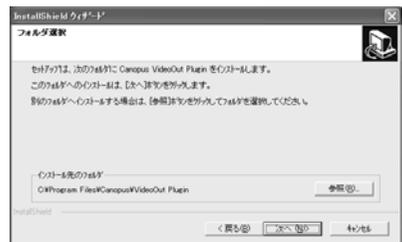
※インストールするVideo-outプラグインにチェックを付けてください。



5

[次へ]をクリックしてください。

→インストール先のフォルダを変更する場合は「参照」をクリックし、フォルダを指定してください。



6

[次へ]をクリックしてください。

→ファイルのコピーが開始されます。



7

[完了] をクリックしてください。



8

[OK] をクリックしてください。

→Video-out プラグインのインストールが完了しました。続いて、Adobe Premiere Pro プラグインのインストール作業へ移行します。



## Adobe Premiere Pro プラグインをインストールする

Adobe Premiere Pro プラグインのインストールを行います。Adobe Premiere Pro をお持ちの場合はインストールを行ってください。

1

[次へ] をクリックしてください。



2

ソフトウェア使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みの上、同意される場合のみ [このソフトウェア使用許諾契約に同意します] にチェックを付け、[次へ] をクリックしてください。使用許諾契約に同意されない場合は、[キャンセル] をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



3

【次へ】をクリックしてください。

→インストール先のフォルダを変更する場合は「変更」をクリックし、フォルダを指定してください。



4

Adobe Premiere Proプラグインのアイコンを登録するフォルダ名を入力し、【次へ】をクリックしてください。



5

【次へ】をクリックしてください。

→ファイルのコピーが開始されます。



6

【はい】をクリックしてください。



7

Readmeが表示されます。【×】をクリックしてウィンドウを閉じてください。

※ Readmeにはマニュアルに記載されていない事項などが記述されていますので、インストールの時に必ずお読みください。



8

[完了] をクリックしてください。



# ACID Music のインストール

## ACID Music をインストールする

Sonic Foundry ACID Musicのインストールを行います。CD-ROMの自動再生の設定を行っている環境ではランチャが自動起動します。自動起動しない場合は、CD-ROM内の[Setup.exe]をダブルクリックしてください。

→『ACID Music CD』を使用します。

※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

**1**

『ACID Music CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

→ランチャが起動します。

**2**

ランチャの [インストール] をクリックしてください。

**3**

インストール時に使用する言語を選択し [OK] をクリックしてください。



4

[次へ] をクリックしてください。



5

エンドユーザー ライセンス契約書が表示されますので、内容をよくお読みの上、[プライバシーポリシーの表示] をクリックしてください。

※エンドユーザーライセンス契約書並びに Sonic Foundry プライバシーポリシーに同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



6

プライバシーポリシーが表示されますので、内容をよくお読みの上、[戻る] をクリックしエンドユーザー ライセンス契約書ウィンドウに戻ってください。

ライセンス契約書並びにプライバシーポリシーに同意される場合のみ[ライセンス契約書の条項に同意する] にチェックを付け、[次へ] をクリックしてください。ライセンス契約書並びにプライバシーポリシーに同意されない場合は、[キャンセル] をクリックし、インストール作業を中断してください。

※エンドユーザーライセンス契約書並びに Sonic Foundry プライバシーポリシーに同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



7

[次へ] をクリックしてください。

→インストール先のフォルダを変更する場合は [参照] をクリックし、フォルダを指定してください。



8

[インストール] をクリックしてください。

※ [デスクトップにショートカットをインストールする] にチェックを付けるとデスクトップにACID Musicのショートカットが作成されます。



9

[完了] をクリックしてください。

※ランチャ画面の [参照] をクリックして、CD内あるACID\_readme.docをダブルクリックしてください。Readmeにはマニュアルに記載されていない事項などが記述されていますので、インストールの時に必ずお読みください。



# COOL 3Dのセットアップ

## COOL 3Dをインストールする

COOL 3Dのインストールを行います。CD-ROMの自動再生の設定を行っている環境ではランチャが自動起動します。自動起動しない場合は、CD-ROM内の [Setup. exe] をダブルクリックしてください。

→『COOL3D Studio SE for Canopus CD』を使用します。

※ インストールを開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

1

『COOL3D Studio SE for Canopus CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。  
→ランチャが起動します。



2

ランチャの [Ulead Cool 3D Studioのインストール] をクリックしてください。

3

インストール時に使用する言語を選択し [次へ] をクリックしてください。



4

[次へ] をクリックしてください。



5

使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みの上、同意される場合のみ [使用許諾契約の全条項に同意します] にチェックを付け、[次へ] をクリックしてください。使用許諾契約に同意されない場合は、[キャンセル] をクリックし、インストール作業を中断してUlead社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



6

[名前] と [会社名] を入力し、[次へ] をクリックしてください。



7

[次へ] をクリックしてください。

→ インストール先のフォルダを変更する場合は [参照] をクリックし、フォルダを指定してください。



8

セットアップタイプを選択します。通常は [すべて] を選択し、[次へ] をクリックしてください。



9

COOL 3Dのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ] をクリックしてください。



10

[次へ]をクリックしてください。  
→ ファイルのコピーが開始されます。



11

[次へ]をクリックしてください。  
※ [はい、オンライン登録を実行します。]にチェックを付けたらオンライン登録ウィンドウが表示されます。  
※ Read Meファイルにはマニュアル等に記載されていない事項などが記述されていますので、インストール時には必ずお読みください。



12

[完了] をクリックしてください。



13

Readmeが表示されます。[×] をクリックしてウィンドウを閉じてください。  
※ Readmeにはマニュアルに記載されていない事項などが記述されていますので、インストールの時に必ずお読みください。

# DVDWorkshop SE のインストール

## DVDWorkshop SE をインストールする

DVDWorkshop SEのインストールを行います。CD-ROMの自動再生の設定を行っている環境ではランチャが自動起動します。自動起動しない場合は、CD-ROM内の [Setup. exe] をダブルクリックしてください。(DVDWorkshop SEはDVDモデルのみ同梱されています)

→ 『DVDWorkshop SE CD』を使用します。

※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

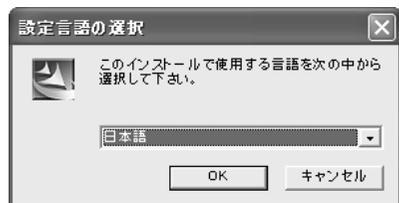
1

『DVDWorkshop SE CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

→ インストーラが起動します。

2

インストールする時に使用する言語を選択し、[OK] をクリックしてください。



3

[次へ] をクリックしてください。



4

使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みの上、同意される場合のみ [はい] をクリックしてください。使用許諾契約に同意されない場合は、[いいえ] をクリックし、インストール作業を中断してください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



5

[次へ] をクリックしてください。



6

DVD再生に使用するDVDプレーヤのリージョンコードを選択します。[お住まいの国名で選択]にチェックを付け、一覧から国名を選択してください。[次へ] をクリックします。

※ [放送形式で選択] にチェックを付け、設定するリージョンコード名称を直接選択することもできます。



7

[クイックタイムムービー (MOV) を再生するために Apple QuickTime5 をインストール。] のチェックをはずし、[次へ] をクリックしてください。

※本製品に付属のDVD LE をインストールしている場合は、ここで QuickTime をインストールする必要はありません

※ReadMeにはマニュアルに記載されていない事項などが記述されていますので、インストールの時に必ずお読みください。

※ [Ulead DVD Workshop SE を登録。] にチェックを付けるとオンライン登録ウィンドウが表示されます。



8

[次へ] をクリックしてください。



9

手順7で [クイックタイムムービー (MOV) を再生するために Apple QuickTime5 をインストール。] にチェックを付けた場合、QuickTime のインストールが始まります。

10

Readmeが表示されます。[×]をクリックしてウィンドウを閉じてください。



11

ご使用のコンピュータがインターネットに接続している場合、メーカーのWebサイトのユーザー登録画面が表示されます。ユーザー登録をする場合は、手続きを完了させた後、[×]をクリックしてウィンドウを閉じてください。



12

[完了] をクリックしてください。



# インストール後の確認

DVStorm 3を正常にお使いいただくために、インストールが正常に完了しているかご確認ください。

## ■ インストールの確認(Windows 2000 の場合)

1

[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックしてください。

→ [システムのプロパティ]が表示されます。[ハードウェア]タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックしてください。



2

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントロール]をダブルクリックしてください。

→ [DVStorm-RT]と表示されていることを確認してください。

→ [DVStorm-RT]の頭に『!』や『X』のマークが表示されている場合、DVStorm 3 ボードが正常にインストールされていません。

※再インストール、リソース問題の解決やボード差し位置の変更などをお試しください。



## ■ インストールの確認(Windows XP の場合)

1

[スタート]メニューの[コントロールパネル]から[パフォーマンスとメンテナンス]へ進み、[コンピュータの基本的な情報を表示する]を選択してください。もしくは[スタート]メニューの[マイコンピュータ]上で右クリックし、[プロパティ]を選択してください。

2

[ハードウェア]タブを選択し、[デバイスマネージャ]をクリックしてください。



## 3

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックしてください。

→ [DVStorm-RT]と表示されていることを確認してください。

→ [DVStorm-RT]の頭に『!』や『X』のマークが表示されている場合、DVStorm 3 ボードが正常にインストールされていません。

※再インストール、リソース問題の解決やボード差し位置の変更などをお試しください。



### ■ リソースの競合の確認

p. 5[■割り込み (IRQ)の確認 (Windows 2000 の場合)]および[■割り込み (IRQ)の確認 (Windows XP の場合)]の手順を参照し、IRQの一覧を表示してください。競合もしくは共有 (IRQ番号が同じ) しているデバイス類がないか確認してください。

### ■ リソース (割り込み) の変更

DVStorm 3ボードと他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常動作しない場合があります。以下の方法をお試しください。

- DVStorm 3ボードを取り付けるPCI スロットを変更してください。
- 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器のIRQの変更を行ってください (IRQステアリングフォルダとの共有は問題ありません)。
- パソコン本体 (マザーボード) のBIOSでリソースの設定を変更してください。BIOSの設定方法は各メーカーによって異なりますので、パソコン本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。



IRQの設定方法はパソコン、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOSでPCI スロットごとに任意のIRQを割り当てるタイプや、特定のIRQをあらかじめ予約するタイプなどがあります。

# Storm Test による動作確認

DVStorm 3を正常にお使いいただくために、現在の状態でインストールが正常に完了し、動作環境がすべて整っているかどうかのテストを行ってください。このテストには、『DVStorm 3 Application CD』に収録されている「Storm Test」を使用します。ここではWindows XPでの手順を例に説明します。

※ テスト結果を保存したい場合は、CD-ROM内の [Storm Test] フォルダをハードディスクの任意の場所にフォルダごとコピーしてから実行してください。

1

『DVStorm 3 Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

→ランチャが起動します。

※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明しています。

2

ランチャから [Storm Testを実行する] を選択してください。

→Storm Testが起動します。

※ Storm Testをハードディスクにコピーして使用している場合は、[Storm Test] フォルダ内の [Stntest.exe] をダブルクリックしてください。



## ◆ Overlay

オーバーレイ表示のテストを行うセクションです。

[Overlay Test] ボタンをクリックすると、現在の環境で、オーバーレイ表示が可能かどうかを確認します。オーバーレイ表示が可能な場合には、テスト画面(白・黄・シアン・緑・マゼンタ・赤・青・黒のカラーバー)が表示され、確認ウィンドウが表示されますので、正しく表示された場合には[はい]を、表示されなかった場合には[いいえ]を選択してください。



## ◆ Machine Info

パソコンの情報を表示するセクションです。

- [Windows]            使用しているOSの情報を表示します。
- [Computer]           CPUのクロック周波数およびメモリ容量の情報を表示します。CPUのクロック数は実測値です。
- [Chip Set]            パソコンに搭載されているチップセットのタイプを表示します。
- [PCI Latency Timer] システムBIOSで設定されているPCI Latency Timerの設定値を表示します。

## ◆ Hard Disk Performance

ハードディスクの転送速度を測定するセクションです。

- [Drive]                転送速度を計測するドライブを指定します。▼をクリックすると、ドライブが一覧で表示されます。
- [HDD Test]           ボタンをクリックすると、転送速度の計測を開始します。
- [Read]                テストを実行すると、ハードディスクの読み込み時の転送速度が表示されます。
- [Write]                テストを実行すると、ハードディスクの書き込み時の転送速度が表示されます。
- 転送速度のテスト結果は、次のように分類されて表示されます。
- 赤** 転送速度が低いため、DVStorm 3に使用することができません。転送速度は 5MB/sec 未満です。
- 黄** 転送速度が十分ではないため、場合によってはリアルタイム編集を行えない可能性があります。転送速度は5MB/sec ~ 10MB/sec 程度です。
- 緑** DVStorm 3を使用するために必要な転送速度が確保されています。DVStorm 3に適したハードディスクですが、転送速度が10MB/sec以上あることをご確認ください。

## ◆ Option

- [起動時に情報ファイルを表示する]    チェックを付けると、Storm Test 起動時に Storm Test の『Readme.txt』を表示します。

- [Save Info]           テスト結果を指定したフォルダにテキストファイルとして保存します。
- [About]               Storm Test のバージョン情報を表示します。
- [Close]               Storm Test を終了します。

# EDIUS LE のアンインストール

EDIUS LEを使用しなくなった場合は、アンインストールすることができます。EDIUS LEの再インストールを行う場合は、アンインストールを実行後、コンピュータを再起動してから必ず行ってください。アンインストールの手順を、WindowsXPを例に説明します。

1

[スタート]メニューから[コントロールパネル]へ進み、[プログラムの追加と削除]を選択してください。

2

削除できるソフトウェアの一覧が表示されますので、[EDIUS LE]を選択し、[変更と削除]をクリックし、アンインストールしてください。

※EDIUS LE、EDIUS FX、ProCoder LE for EDIUS、Xplode Basics for EDIUS、Title Express for Canopusが一括でアンインストールされます。



3

EDIUS LEのアンインストールが終了すると、インストールの完了ウィンドウが表示されます。[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]にチェックを付け、[完了]をクリックしてください。→コンピュータが再起動します。

※アンインストール後に、EDIUS LEを再インストールする場合、必ずコンピュータの再起動後に行ってください。



## CHAPTER4

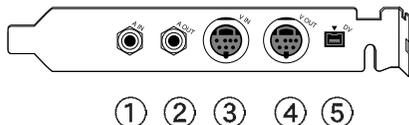
# 各部の名称と端子の接続例

- ・各部の名称と機能
- ・接続

# 各部の名称と機能

## DVStorm 3 ボード リアパネル

DVStorm 3ボードのリアパネルには以下のような接続端子があります。



- ① A IN端子  
アナログオーディオ(音声)入力端子です。
- ② A OUT端子  
アナログオーディオ(音声)出力端子です。
- ③ V IN端子  
Sビデオ信号入力端子です。コンポジットケーブルでの接続を行う場合は、付属のアナログ端子変換ケーブルを使用します。
- ④ V OUT端子  
Sビデオ信号出力端子です。コンポジットケーブルでの接続を行う場合は、付属のアナログ端子変換ケーブルを使用します。
- ⑤ DV端子  
DV端子です。このDV端子とDVStorm 3ボード表面にあるDV端子は、ジャンプスイッチの切り替えにより、排他的に使用できます(切り替えにより、いずれか片方のDV端子のみ使用可能)。

参照

ジャンプスイッチによるDV端子の切り替えについては、p. 13手順6を参照してください。

☐ StormBay(オプションユニット/別売)使用時のご注意!

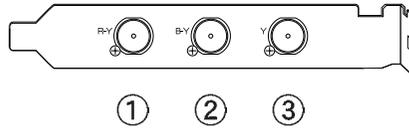
StormBay側の入出力使用時には、DVStorm 3ボードのリアパネルにある端子からの出力は行わないでください(DVStorm 3ボード側もしくはStormBay側のいずれかを排他的に使用)。

参照

外部機器との接続については、p. 59を参照してください。

## コンポーネント出力ボード リアパネル

コンポーネント出力ボードのリアパネルは以下のような端子があります。



- ① R-Y端子  
R-Yビデオ信号出力端子です。
- ② B-Y端子  
B-Yビデオ信号出力端子です。
- ③ Y端子  
Yビデオ信号出力端子です。



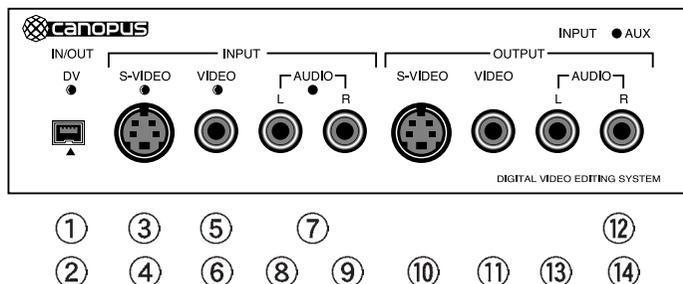
DVStorm 3 ボードを使用する際は、必ずコンポーネント出力ボードを接続してください。



DVStorm 3 ボードとコンポーネント出力ボードの接続は p. 10 の手順3 を参照してください。

## StormBay フロントパネル

別売のStormBayのフロントパネルには以下のような接続端子およびインジケータ類があります。

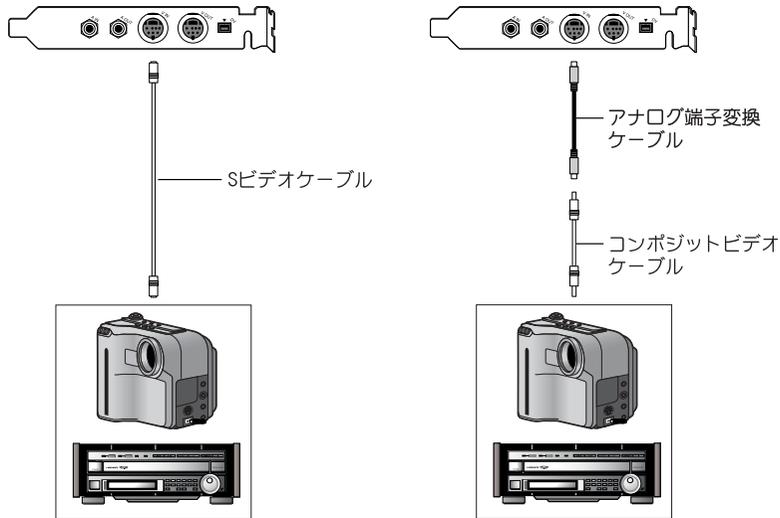


- ① DVインジケータ  
DV入出力時に点灯します。
- ② DV端子  
DV接続端子です。
- ③ INPUT S-VIDEOインジケータ  
S-ビデオ入力時に点灯します。
- ④ INPUT S-VIDEO(S-ビデオ入力)端子  
S-ビデオ信号入力端子です。
- ⑤ INPUT VIDEOインジケータ  
コンポジットビデオ入力時に点灯します。
- ⑥ INPUT VIDEO(コンポジットビデオ入力)端子  
コンポジットビデオ信号入力端子です。
- ⑦ INPUT AUDIOインジケータ  
アナログオーディオ入力時に点灯します。
- ⑧ INPUT AUDIO L(音声入力/左)端子  
アナログオーディオ入力端子(左)です。
- ⑨ INPUT AUDIO R(音声入力/右)端子  
アナログオーディオ入力端子(右)です。
- ⑩ OUTPUT S-VIDEO(S-ビデオ出力)端子  
S-ビデオ信号出力端子です。
- ⑪ OUTPUT VIDEO(コンポジットビデオ出力)端子  
コンポジットビデオ信号出力端子です。
- ⑫ AUXインジケータ  
現在使用しません。
- ⑬ OUTPUT AUDIO L(音声出力/左)端子  
アナログオーディオ出力端子(左)です。
- ⑭ OUTPUT AUDIO R(音声出力/右)端子  
アナログオーディオ出力端子(右)です。

# 接続

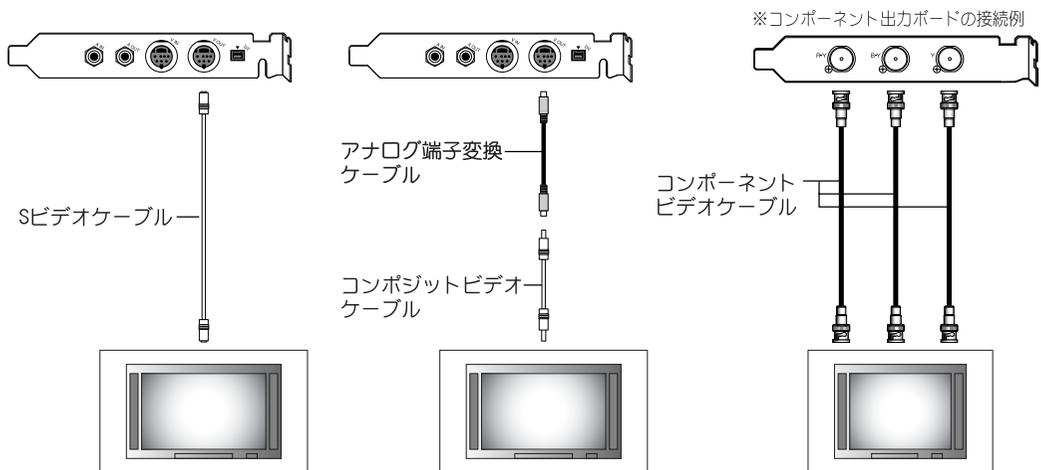
## ビデオ入力端子の接続例

外部ビデオ機器の出力を録画したい場合には、Sビデオケーブルもしくはコンポジットビデオケーブルを使用して、DVStorm 3ボードのV IN端子と接続を行います。コンポジット入力をする場合は、アナログ端子変換ケーブルを使用します。



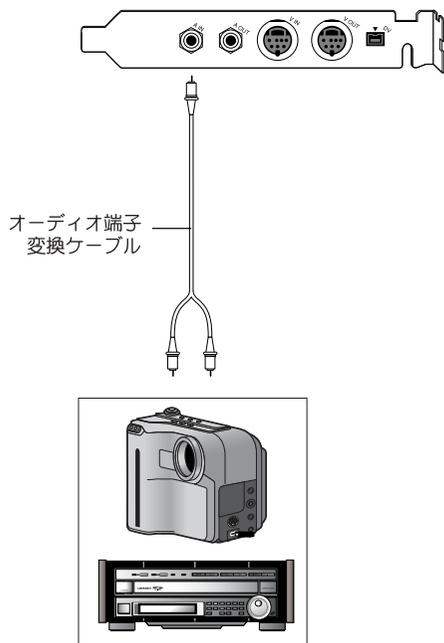
## ビデオ出力端子の接続例

DVStorm 3ボードのV OUT端子とテレビ等のSビデオ入力端子と接続を行います。コンポジット出力をする場合は、アナログ端子変換ケーブルを使用してテレビ等のコンポジットビデオ入力端子と接続します。コンポーネント出力をする場合は、コンポーネントビデオケーブルを使用して、テレビ等のコンポーネント入力端子と接続します。



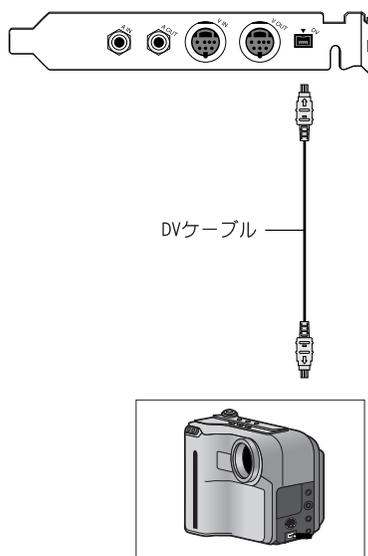
## オーディオ入力端子の接続例

DVStorm 3ボードのA IN端子とビデオなどの出力端子をオーディオ端子変換ケーブルで接続します。



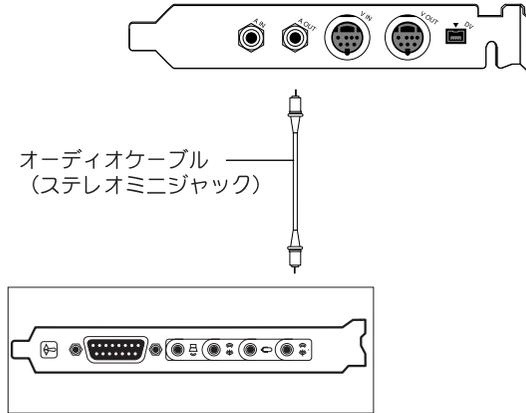
## DV 端子の接続例

DVStorm 3ボード DV 端子と DV カメラなどの DV 端子を DV ケーブルで接続します。



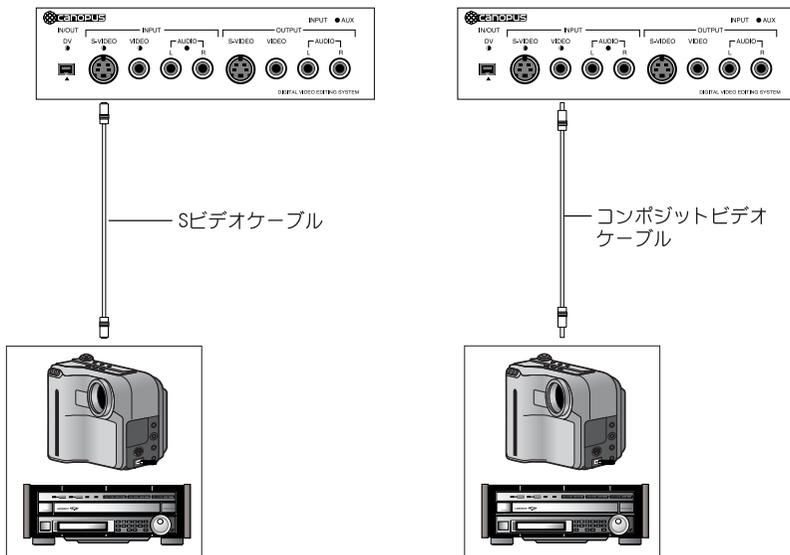
## オーディオ出力端子の接続例

サウンドボードから音声出力する場合、DVStorm 3ボードのA OUT 端子とサウンドボードのライン入力端子を接続します。



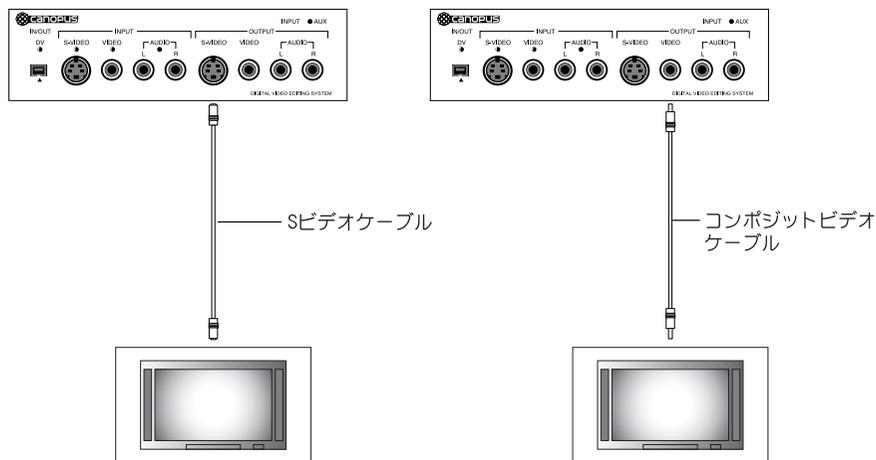
## StormBay のビデオ入力端子の接続例

StormBayを使用して、外部ビデオ機器の出力を録画したい場合には、Sビデオケーブルを使用して、StormBayの INPUT S-VIDEO 端子と接続を行います。コンポジット入力をする場合はコンポジットビデオケーブルを使用して、StormBayの INPUT VIDEO 端子を接続します。



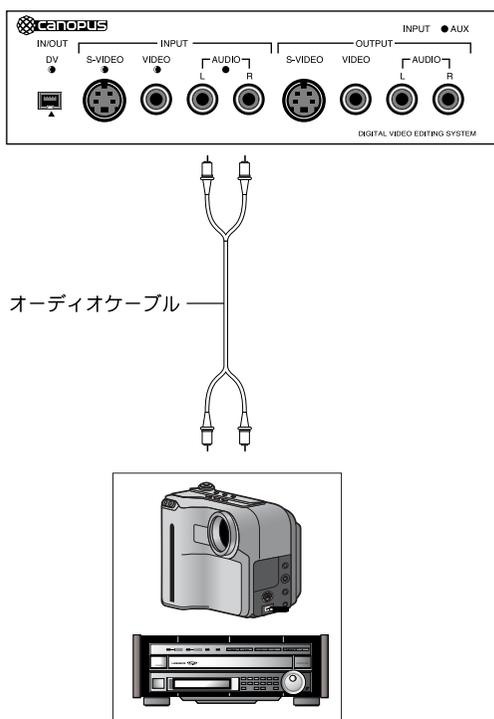
## StormBay のビデオ出力端子の接続例

StormBay の OUTPUT S-VIDEO 端子とテレビ等の Sビデオ入力端子を Sビデオケーブルで接続します。コンポジット出力をする場合は、OUTPUT VIDEO端子とテレビ等のコンポジットビデオ入力端子をコンポジットビデオケーブルで接続します。



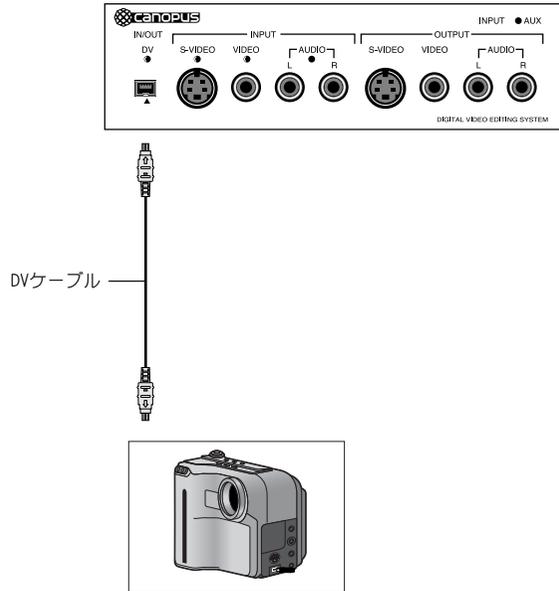
## StormBay のオーディオ入力端子の接続例

StormBay の INPUT AUDIO端子 (LとRの2箇所) とビデオなどの出力端子をオーディオケーブルで接続します。接続時には StormBay の INPUT AUDIO L 端子に、接続するビデオなどの機器の出力端子の L 側を、また INPUT AUDIO R 端子に、接続するビデオなどの機器の出力端子の R 側を接続してください。



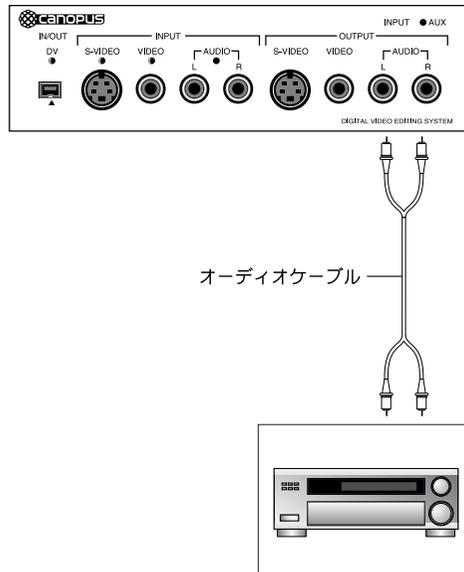
## StormBay の DV 端子の接続例

StormBay の DV 端子と DV カメラなどの DV 端子を DV ケーブルで接続します。



## StormBay のオーディオ出力端子の接続例

StormBay の OUTPUT AUDIO 端子 (L と R の 2 箇所) と AV アンプなどの入力端子をオーディオケーブルで接続します。接続時には StormBay の OUTPUT AUDIO L 端子に、接続する AV アンプなどの機器の入力端子の L 側を、また OUTPUT AUDIO R 端子に、接続する AV アンプなどの機器の入力端子の R 側を接続してください。



### StormBay (オプションユニット / 別売) 使用時のご注意 !

StormBay 側の入出力使用時には、DVStorm 3 ボードのリアパネルにある端子からの出力は行わないでください (DVStorm 3 ボード側もしくは StormBay 側のいずれかを排他的に使用)。



## CHAPTER5

# アプリケーションソフト

この章ではアプリケーションソフトの操作方法について説明します。

- Video-out プラグインの使い方
- 省電力モードの対応

# Video-out プラグインの使い方

## Adobe After Effects Video-out プラグイン

Adobe After Effects のコンポジションウィンドウに表示されている映像を、DVStorm 3ボードのビデオ出力からテレビモニタに出力し、確認しながら作業が行えます。

→対応バージョン: Adobe After Effects 6.0



- インストールする場合、システム設定の変更を行える資格を持つユーザー ID (Administrator、コンピュータの管理者等) でログインしてください。システムの変更を行えないユーザー ID では、インストール作業は行えません。
- 設定ダイアログで設定を変更しても、変更はすぐに反映されません。コンポジションウィンドウ内をクリックするあるいは、タイムレイアウトウィンドウでスクラブするといった操作を行うと設定変更が反映されます。
- RAMプレビュー時に再生がスムーズにならない場合は、メニューの [編集] → [環境設定] → [キャッシュ] で開くダイアログから [イメージキャッシュサイズ] の値を小さくしてください。
- コンポジション設定は、お使いのビデオスタンダードにあわせて、NTSCDV プリセットもしくは、PALD1/DV プリセットをお使いください。  
 フレームサイズ: 720x480 (NTSC), 720x576 (PAL)  
 ピクセル縦横比: D1/DVNTSC (NTSC), D1/DVPAL (PAL)  
 フレームレート: 29.97 フレーム/秒 (NTSC), 25 フレーム/秒 (PAL)
- レンダーキューの出力モジュールは以下の設定にしてください。  
 出力モジュール: カスタム  
 形式: Video For Windows  
 形式オプション: CanopusDV  
 オーディオ出力:  
     48,000kHz16ビットステレオまたは、  
     44,100kHz16ビットステレオまたは、  
     32,000kHz16ビットステレオ
- 伸縮・クロップはサポートされません。

※ 最大表示にしている場合、RAMプレビューでリアルタイムにならない場合があります。

※ クリップウィンドウはアナログ出力できません。クリップのプレビューをしたい場合は、レイヤーウィンドウをお使いください。レイヤーウィンドウは、プロジェクトウィンドウで Alt+ダブルクリックすることで開くことができます。

※ クリップウィンドウが表示されている場合、コンポジションウィンドウ・レイヤーウィンドウはアナログ出力できません。

※ マウスカーソルに影をつけている場合、お使いのビデオカードによっては、クリップウィンドウにマゼンタ色のごみが見える場合があります。

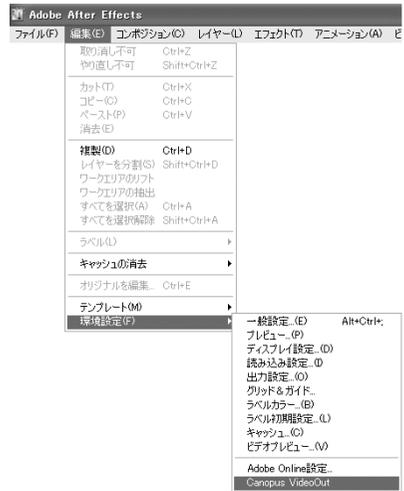
準備: DVStorm 3ボードの映像出力端子とテレビモニタを接続しておきます。

# 1

After Effects を起動し、メニューから [編集] を選択します。

2

[環境設定] → [Canopus Video Out] を選択します。



3

[Canopus Video Outの設定] 画面で設定します。

モニターアウトする

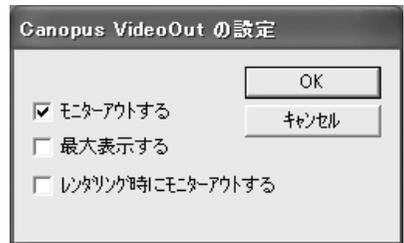
: チェックがついている場合にレンダリング結果をモニター出力します。

最大表示する

: コンポジションウィンドウを 720 × 480 (NTSC) / 720 × 576 (PAL) に拡大 / 縮小して表示します。

レンダリング時にモニターアウトする

: レンダリング中の映像をモニター出力します。



## Adobe Photoshop Video-out プラグイン



Adobe Photoshop に表示されている画像を、DVStorm 3 ボードのビデオ出力からテレビモニタに出力し、Adobe Photoshop で作成した画像をビデオ素材に使用したり、あらかじめビデオに最適化した色合いに調整しておく等の作業が行えます。

対応バージョン: Adobe Photoshop 7.0 / Adobe Photoshop Elements 2.0

準備: DVStorm 3 ボードの映像出力端子とテレビモニタを接続しておきます。

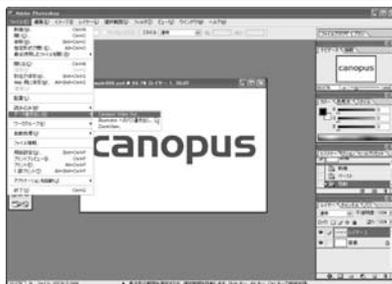
1

Photoshop を起動し、ビデオ出力したいファイルを開きます。

2

[データ書き出し] → [Canopus Video Out] を  
選択します。

→テレビモニタに静止画が表示されます。



ショートカットキーによる呼び出し  
アクションに登録しておくことでショートカットやファンクションキーで呼び出すことができます。

登録の手順

1. アクションウィンドウを表示させ、[アクション] タブを選択します。
2. [新規アクションを作成] をクリックします。
3. 新規アクションウィンドウが表示されるのでアクション名、ファンクションキーなどを入力し [記録] をクリックします。
4. [ファイル] メニューから [データ書き出し] → [Canopus Video Out] を選択します。
5. [再生/記録を中止] をクリックします。

## NewTek LightWave 3D Video-out プラグイン



NewTek LightWave 3D 上に表示されている画像を、DVStorm 3 ボードのビデオ出力からモニタに出力できます。

対応バージョン: NewTek LightWave 3D 7.5

準備: DVStorm 3ボードの映像出力端子とテレビモニタを接続しておきます。

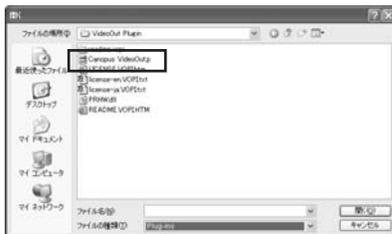
1

LightWave 3Dを起動し、[レイアウト] メニューから [プラグイン] → [プラグイン追加] を選択します。



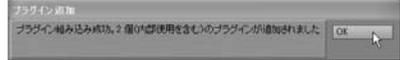
2

[マイコンピュータ] → [ローカル ディスク(C:)] → [Program Files] → [Canopus] → [VideoOut Plugin] の [Canopus Video Out.p] を選択し、[開く] をクリックします。



3

[OK] をクリックします。



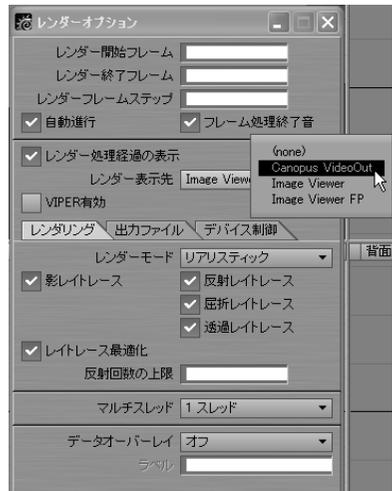
4

[レンダリング] メニューから [レンダーオプション] を選択します。



5

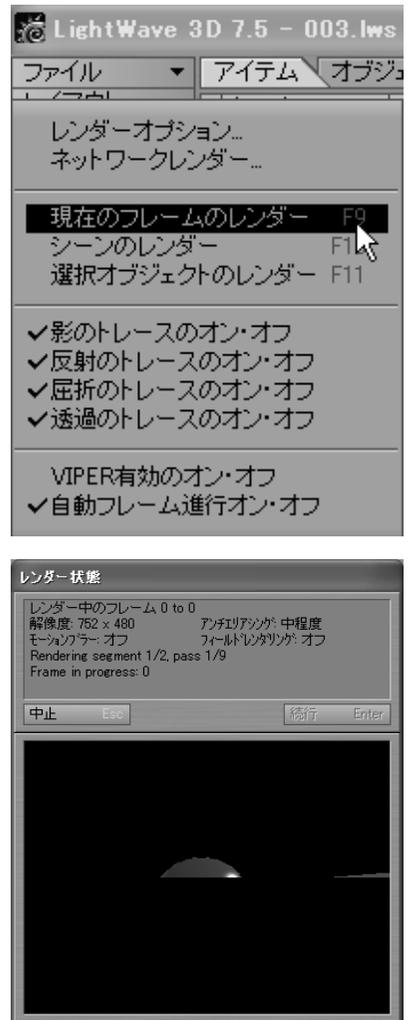
[レンダー処理経過の表示] にチェックを付け、レンダー表示先を [Canopus Video Out] に選択します。



## 6

[レンダリング] メニューから [現在のフレームのレンダー] または [シーンのレンダー] を選択します。

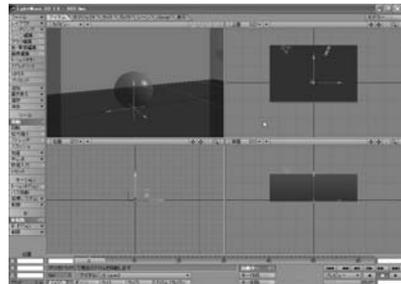
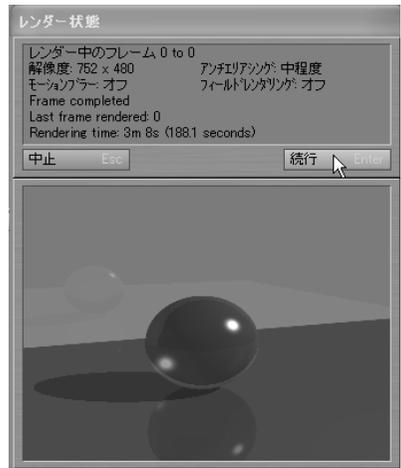
→レンダリングが開始されます。



7

レンダリング終了後、[続行] をクリックするとビデオ出力を開始します。

→ビデオ出力と同時にレンダー状態ウィンドウが閉じ、元の画面に戻ります。



# 省電力モードへの対応

Windows2000/XPの場合、スタンバイモードの動作が不安定な環境が存在します。シャットダウン/再起動/スタンバイから、復帰が正常に動作しない場合は、電源の管理方法の変更を行ってください。

1

EDIUSをインストールしたフォルダ(初期設定ではC:\Program Files\Canopus\EDIUSフォルダ)の[PwrProp.exe]を起動します。

2

電源の管理方法を変更します。

※管理方法の変更は、次回のWindows2000/XP起動時に降に有効となります。

※ドライバのインストール直後は①が選択されています。管理方法を変更する場合は、まず②を選択し、動作が不安定な場合は③を選択します。

## ① [Windows2000 準拠の電源管理]

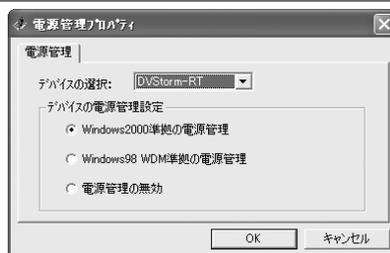
Windows2000 Device Driver Kit(build2195)に準拠した power policy ownerとして動作します。

## ② [Windows98WDM 準拠の電源管理]

Windows98DeviceDriverKit(ないしは、Windows2000 Release Candidate 2Device Driver Kit)に準拠した power policy ownerとして動作します。

## ③ [電源管理の無効]

電源管理を実行しません。電源マネージャからの処理要求(IRP)は下位ドライバに渡します。



## CHAPTER6

# Adobe Premiere Pro で使う

この章では、Premiere ProでDVStorm 3の機能を使用する方法を説明します。

- ・はじめに
- ・Adobe Premiere Proの準備
- ・ビデオエフェクトの使い方
- ・ビデオトランジションの使い方

# はじめに

## 制限・注意事項について

Adobe Premiere ProでDVStorm 3の機能をお使いいただく場合、以下のような制限事項やご注意いただきたい事項があります。本製品をご使用時には、必ずご確認ください。

### ■インストールおよび使用時のご注意

- ※再生中に「処理が間に合わないために再生を停止します」エラーが発生した場合は、現在お使いのシステムではリアルタイム再生ができません。プロジェクトをファイルに出力するか、システム(CPU、HDDやメモリ)をアップグレードしてください。
- ※Premiere Proプラグインでは、5 ストリームまでの同時再生が可能となります。ただし、実際に再生が可能なストリームの数は、CPU性能、ディスク性能、PCIバスの利用状況などにより変化し、お客様がご利用の環境に依存するため、かならずしも5 ストリームの同時再生を保証するものではありません。
- ※Canopusの16x9 編集モードでは、ピクセルアスペクト比は1.0になります。これは、Premiereの問題ではありません。また、タイトル/トランジション/ビデオフィルタも正しく処理されます。

## Adobe Premiere Pro プラグインのご注意

### ■Canopus Title Motion Filter

- ※ローリングタイトルオプション、タイトルモーションはサポートしていません。(Canopus Title Motion Filter を使用してください。)
- ※SoftSlide Up、SoftWipe Upを使用したとき、上の数ラインの色が変色する場合があります。
- ※Blur Dissolveを使用したとき、文字の周りが緑色に変色することがあります。

### ■Canopus Video Filter

- ※モーションブラーは、複数のクリップがトラックに配置されている場合、正しく効果が反映されない場合があります。この場合は、単一のクリップをトラックに配置し、モーションブラーを設定後、ムービー出力を行い、このクリップを使用してください。
- ※モーションブラー設定時、Previewウィンドウに効果が表示されない場合は、右クリックで表示されるポップアップメニューの[時間優先]のチェックをはずしてください。
- ※モーションブラーを設定したクリップにトランジションを設定し、そのトランジションをレンダリングすると、正しい結果が得られません。
- ※オールドムービーは、矩形・ブレンド・マージ・クロミナンスフィルタ内に登録して使うことはできません。
- ※クロミナンスフィルタで、極端に小さい矩形領域を処理させると正しく処理できません。

- ※矩形フィルタの内側にカラーバーフィルタを入れる場合は、ITU-R BT. 801カラーバーは選択できません。
- ※矩形フィルタで内側にモーションブラーを選択し、なおかつムービングパスを設定した場合、正しい結果が得られません。
- ※矩形フィルタでムービングパスを設定したクリップのイン点を変更すると、映像と矩形の位置関係が崩れてしまいます。
- ※透過度設定で「アルファチャンネル」を選択した時の「反転キー」はサポートしていません。

### ■ Canopus Video Filter < <sup>ルミナンスキー</sup>Luminance key/Picture in Picture >

- ※「P in P」と「ルミナンスキー」を組み合わせたクリップに「P in P」のディゾルブを使用すると、正しい結果が得られません。そのような場合はルミナンスキーのフェードイン・フェードアウト機能またはキーフレーム機能を使用してください。
- ※「P in P」と「ルミナンスキー」を組み合わせたクリップに「P in P」の[位置・サイズ設定]で[透過]を有効にすると、正しい結果が得られません。そのような場合はルミナンスキーのキーフレーム機能を使用してください。

### ■ Canopus Video Filter < <sup>クロマキー</sup>Chromakey >

- ※極端に小さい矩形領域を処理させると正しく処理できません。
- ※設定ダイアログの[CG設定]を有効にして「自動フィット」を行いたい場合は、必ず先に[CG設定]を有効にしてから[自動フィット]ボタンを押してください。

## リアルタイム可能の再評価についてのご注意

※リアルタイムプレイバックモジュールでは、実際にプレビューを行うまで正確なリアルタイム可能・不可能の判定ができません。その結果、一旦「リアルタイム可能」と判定された部分がリアルタイムプレイバックできない、「リアルタイム不能」と判定された部分がリアルタイムプレイバックできる場合があります。

※編集作業時点に於けるPremiere によるリアルタイムレンダリングが必要/不必要の判定は、Premiere の「タイムライン」ウィンドウの上部に赤(レンダリング必要)、グレー(レンダリング不要)、緑(レンダリング必要部分の事前レンダリング完了)のバーとして表示されています。この「タイムライン」ウィンドウの表示と実際の動作が異なる場合は、リアルタイム可能性の再評価を行う必要があります。プレビュー中に自動で再評価が行われますので、特別な操作をする必要はありません。テープ出力などで、レンダリングが必要になる部分を正確に判定する必要がある場合は、「再生設定」ダイアログを開き「間に合わない再生は停止する」のチェックをはずした状態でのタイムライン全体のプレビューを必ず行ってください。

※リアルタイムプレイバックモジュールのビデオスタンダードをNTSCからPALへ、またはPAL からNTSC へ切り替える場合には、[編集]→[環境設定]→[スクラッチディスクをデバイスコントロール]の[オプション]ボタンをクリックし、[詳細設定]タブにあるビデオスタンダードを変更し、再起動してください。

## テープへ出力(Sync Rec)についてのご注意

※「再生設定」ダイアログで、[間に合わない再生は停止する]のチェックをはずします。この状態で、テープへ出力する区間全体を一度再生します。その後、「再生設定」ダイアログをいったん開いてから閉じ、「再評価しますか」のメッセージで[はい]をクリックし、再評価させてください。この状態で、テープへ出力することができるようになります。ただし、この手順でも、テープへ出力中に再生が間に合わなくなり、失敗する場合があります。

# Adobe Premiere Proの準備

DVStorm 3のインストールを行うと、Adobe Premiere Proに以下のような機能が追加されます。ここでは、これらの追加機能をご使用いただくための準備手順として、起動、設定の確認方法を説明します。

## ■ Adobe Premiere Pro プラグイン

- ◇ Canopus DV AVIコーデックによるAVIファイル出力のサポート →p.77
- ◇ DVStorm 3ボード(DVStorm-RTボード)による動画再生時のハードウェアサポート →p.81
- ◇ ビデオエフェクトにCanopus Title Motion Filterを追加 →p.91
- ◇ ビデオエフェクトにCanopus Video Filter(ルミナンスキー、クロマキー、ピクチャー イン ピクチャー含む)を追加 →p.92
- ◇ ビデオトランジションにCanopus Transitionを追加 →p.98

## ■ Adobe Premiere Pro 3D RT

- ◇ ビデオトランジションにCanopus3D-RT-3Dを追加 →p.99

## ■ Adobe Premiere Pro 3D RT Filter

- ◇ ビデオトランジションにCanopus3D-RT-Filterを追加 →p.99

## ■ Xplode DVStorm

- ◇ ビデオトランジションにXplode DVStormを追加 →p.100

## Adobe Premiere Proの起動と初期設定

1

Adobe Premiere Proを起動し、表示される画面から[新規プロジェクト]をクリックしてください。

→「新規プロジェクト」ウィンドウが表示されます。



## 2

映像方式、アスペクト比など該当する設定を選択し、[名前]に任意のプロジェクト名を入力してください。

プロジェクトの設定は下記のいずれかから選択してください

## ◇ Canopus DV-NTSC

- Standard 32kHz
- Standard 44.1kHz
- Standard 48kHz
- Widescreen 32kHz
- Widescreen 44.1kHz
- Widescreen 48kHz

## ◇ Canopus DV-PAL

- Standard 32kHz
- Standard 44.1kHz
- Standard 48kHz
- Widescreen 32kHz
- Widescreen 44.1kHz
- Widescreen 48kHz

※起動方法についてはPremiere 付属のマニュアルをご確認ください



## 3

[カスタム設定] タブをクリックし、[編集モード]に Canopus RealTime DV が選択されていることを確認してください。



## 4

[再生設定] をクリックしてください。

→「Canopus RealTime DV 再生設定」ウィンドウが表示されます。

## 5

設定する項目にチェックを付け、[OK]をクリックしてください。

#### ◇プレビューをモニタに出力する

フィルタの設定画面を表示中に映像および音のプレビューを行う場合にはチェックを付けます。

#### ◇バッファステータスを表示

バッファに蓄積されたフレーム数をオーバーレイ画面に表示させる場合に、チェックを付けます。この値が減少していく場合は、処理が重い状態になっていることを表しています。

#### ◇間に合わない再生は停止する

データの転送速度の遅延や処理速度の低下などの原因により再生が間に合わない場合、チェックを付けます。

#### ◇色空間

[YCbCr(ITU-R BT.601準拠)]か[RGBエミュレーション]のどちらかを選択します。[YCbCr(ITURBT.601 準拠)]はEDIUSで使用される色空間に互換性が高く、RGBエミュレーションはPremiereに互換性が高いモードです。通常は[YCbCr(ITU-R BT.601準拠)]の設定で問題はありませんが、クロマキーとクロミナスフィルタの設定において設定画面とプレビュー画面で色のぬけ具合の差が大きい場合は、RGBエミュレーションを選択すると効果がある場合があります。ただし、RGBエミュレーションを選択した場合は、処理が重くなります。

#### ◇パフォーマンス

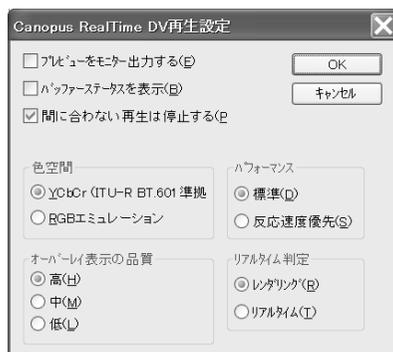
[標準]を選択するとスムーズに再生することができますが、プレイボタンを押してから再生を始めるまでのタイムラグが大きくなります。[反応速度優先]を選択するとプレイボタンを押してからすばやく再生を始めるようにパラメータを最適化しますが、再生開始時に処理が間に合わなくなることがあります。

#### ◇オーバーレイ表示の品質

[高]に設定すると表示品質は上がりますが、リアルタイム再生がストップしやすくなります。品質を下げて設定するとPCIバスのデータ転送負荷が減り、リアルタイム再生がストップしにくくなります。

#### ◇リアルタイム判定

[レンダリング]を選択するとリアルタイム再生が可能なフィルタ、トランジションも含め全ての効果が含まれるタイムライン部分をレンダリング必要部分と判定します。[リアルタイム]を選択するとリアルタイム再生が不可能なフィルタ、トランジションが含まれるタイムライン部分のみをレンダリング必要部分と判定します。また、スペースキーによる再生プレビューなどを行うと、[レンダリング]を選択している場合でもリアルタイム再生が不可能な部分のみのレンダリングを行なうことができます。



## 6

左のボックスから[キャプチャ]を選択し、[キャプチャ形式]に「Canopus DV Capture」が選択されていることを確認してください。



7

[Option]をクリックしてください。

→「キャプチャ設定」ウィンドウが表示されます。

8

項目を設定し、[OK]をクリックしてください。

#### ◇入力チャンネル

入力チャンネルを選択します。DVStorm 3ボードの「IN端子」から入力する場合は「IN1」、「DV端子」から入力する場合は「DV 1」を選択します。StormBayを接続している場合は入力端子の数に応じた選択肢が増えます。

#### ◇アナログオーディオサンプリングレート

[48kHz][44.1kHz][32kHz]からいずれかのレートを選択します。



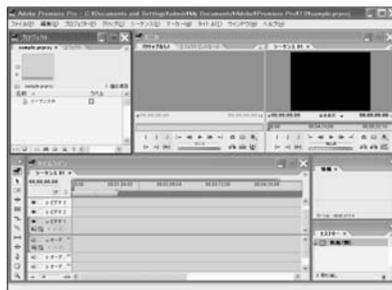
9

左のボックスから「ビデオレンダリング」を選択し、[圧縮形式]に「Canopus DV」が選択されていることを確認して[OK]をクリックしてください。



10

Adobe Premiere Proのメインウィンドウが表示されます。



## DVStorm 3 ボードのプロパティを設定する

Adobe Premiere Proのご使用時に動画処理などをサポートするDVStorm 3ボードのプロパティの設定項目について説明します。

1

メニューバーから[編集]→[環境設定]→[デバイスコントロール]を選択します。

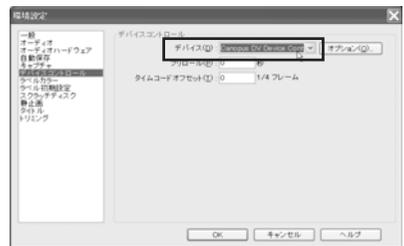
→「環境設定」ウィンドウが表示されます。



2

「デバイス」項目に Canopus DV Device Control が選択されていることを確認し、[オプション] ボタンをクリックしてください。

→「DVStorm-RT のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



## INPUT1 タブ

[INPUT 1 (IN 1)]および[INPUT 2 (IN 2)]でアナログ入力する映像の設定を行います。  
[INPUT 2 (IN 2)]はStormBay 装着時に表示されます(装着されていない場合は、表示されません)。

※ [INPUT 2 (IN 2)]はStormBay の設定に割り当てられています。

## ◇ビデオ入力(アナログ入力)

## ・マッピング

[INPUT 1]もしくは[INPUT 2(StormBay 装着時)]に割り当てるビデオ入力端子を指定します。

## ◇画質調整(アナログ入力)

## ・明るさ

映像の明るさを調整します。値が小さいほど暗くなり、大きいほど明るくなります。

## ・コントラスト

画像のコントラストを調整します。値が小さいほどコントラストは弱くなり、大きいほど強くなります。

## ・色の濃さ

色の濃さを調整します。値が小さいほど色が薄くなり、大きいほど濃くなります。最小値の0に設定すると、完全なグレースケールになります。

## ・色合い

映像の色合いを調整します。値が小さいほど緑色が強くなり、値が大きいほど赤色が強くなります。

## ・シャープネス

映像の輪郭の先鋭さを調整します。値が小さいほど映像の輪郭がぼやけ、大きいほど輪郭が強調されます。

## ◇セットアップレベルの設定

[INPUT 1]もしくは[INPUT 2(StormBay 装着時)]に入力される信号の黒(セットアップ0レベル)を指定します。黒(セットアップ)レベルは[0 IRE]と[7.5 IRE]のどちらかが設定できます。通常、黒(セットアップ)レベルは[0 IRE]に設定してください。海外の映像機器と組み合わせる場合には、機器の使用に応じて[7.5 IRE]を選択してください。

※黒(セットアップ)レベルの設定はNTSC 時のみ有効となります。

※ IRE とは、ビデオ信号の黒レベル(セットアップレベルなしの条件)から白レベルまでの映像振幅の 1% を表す相対単位です。



## Sync Rec タブ

Sync Rec動作時の遅延設定を行います。

### ◇遅延設定

#### • 開始時

Sync Rec時にAVIの再生開始が、DVデッキの録画開始からどの程度遅れて開始されるかを設定します。例えば「7」に設定した場合、デッキの録画開始が、AVIファイルの再生開始よりも7フレーム分遅延します。

#### • 停止時

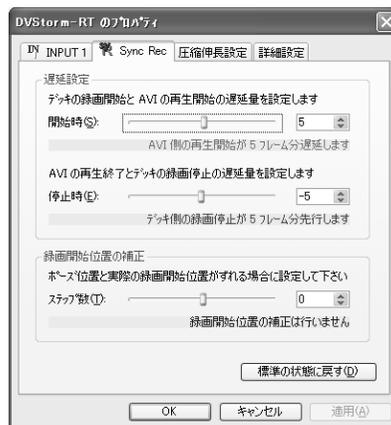
Sync Rec時にAVIの再生終了後、DVデッキの録画終了がどの程度遅れて終了するかを設定します。例えば「-7」に設定した場合、AVIファイルの再生終了よりも7フレーム先行してデッキが録画終了します。

### ◇録画開始位置の補正

#### • ステップ数

お使いのDV機器によっては、Sync Rec時にポーズしたフレームよりも前の数フレームを巻き戻った位置から録画を開始してしまい、必要なデータが上書きされてしまうことがあります。このようなSync Recによるポーズから実際に録画が開始されるまでに位置のずれが生じる場合は補正值を設定します。例えば「0」に設定した場合、補正は行いません。

※ステップ数とはコマ送りコマンドの発行回数を意味しています。



## 圧縮伸張設定 タブ

再生時の圧縮伸張プロパティ設定を行います。

### ◇色変換

- YUV<->RGB変換を150%でクリップする

映像の内容によっては、YUVからRGBへの変換を行った場合、色に対する明るさの比率を1対1で変換すると変換しきれない色が発生し、正しく色が再現されない場合があります。この項目にチェックを付けると一定の値から色の変換係数を変更し、最終的に色に対する明るさの変換軸を150%まで延ばして変換しきれない色が発生する範囲を減らします。



## 詳細設定 タブ

DVStorm-RT (DVStorm 3 ボード)の各動作モードの設定を行います。

### ◇ビデオ

#### ・ビデオ

入力するビデオ信号の形式を指定します。日本国内ではNTSC信号が使用されています。[時間表示にドロップフレームを使用する]にチェックを付けた場合、NTSCタイムコードをドロップフレームタイムコードに切り替えます。

#### ・ポーズ時

ポーズ時に出力するフィールドを切り替えます。

FRAME：ポーズ時に奇数と偶数の両フィールドを出力します。

ODD：ポーズ時に奇数フィールド(FirstField)を出力します。

EVEN：ポーズ時に偶数フィールド(Second Field)を出力します。

#### ・セットアップ

出力時の黒(セットアップ)レベルを指定します。黒(セットアップ)レベルは[0 IRE]と[7.5 IRE]のどちらかが設定できます。通常、黒(セットアップ)レベルは[0 IRE]に設定してください。海外の映像機器と組み合わせる場合には、機器の仕様に応じて[7.5 IRE]を選択してください。  
※黒(セットアップ)レベルの設定はNTSC時のみ有効となります。

#### ・DVフォーマット

使用するフォーマットを指定します。

### ◇再生バッファ

#### ・バッファサイズ

再生時のバッファを設定します。現在使用している環境の物理メモリ容量を越えた設定を行うと「現在のメモリでは正常に動作しない可能性があります。よろしいですか?」というダイアログが表示されますので[キャンセル]をクリックしてください。1秒(デフォルト)で128MB、2秒で192MB以下64MBのメモリごとに1秒ずつバッファを増やすことができます。[自動設定]を選ぶと、現在のシステムメモリに合わせて最適な値を自動的に設定します。ただし、システムによっては起動時にハングアップを起こす場合がありますのでおすすめできません。。その場合は、いったんDVStorm 3ボードを取り外し、パソコンを起動してアプリケーションフォルダ内にある「Def\_NT.reg」ファイルを開きます(マウスを右クリックし、[結合]を選択するか、ダブルクリックします)。電源を切ってからDVStorm 3ボードを再度装着し、パソコンを起動してください。



[バッファサイズ]を自動設定にしないでください。また、バッファサイズを変更するとパソコンを再起動します。データなどはバッファサイズの変更前に必ず保存しておきましょう。

3

設定を有効にするには[OK]をクリックしてください。

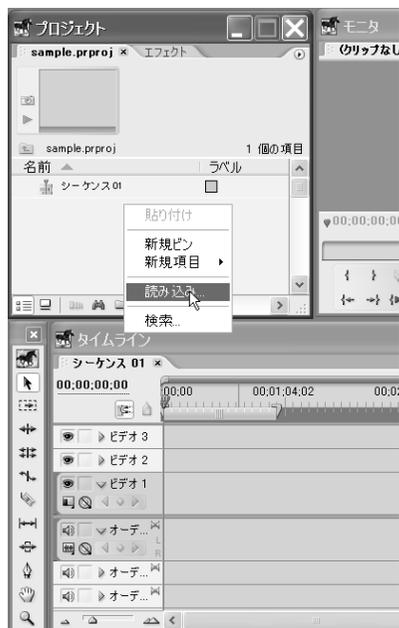
## ビデオクリップを配置する

DVStorm 3をインストールすることで追加されたビデオエフェクト、ビデオトランジションを使用するためには、まずビデオクリップなどを読み込み、タイムライン上に配置します。ビデオエフェクト、ビデオトランジションは配置されたビデオクリップ(トラック)に対して適用します。ここでは、ビデオクリップを読み込み、タイムライン上に配置するまでの操作を説明します。

1

メインウィンドウ内の「プロジェクト」ウィンドウ内で右クリックし、表示されるメニューから「読み込み」をクリックしてください。

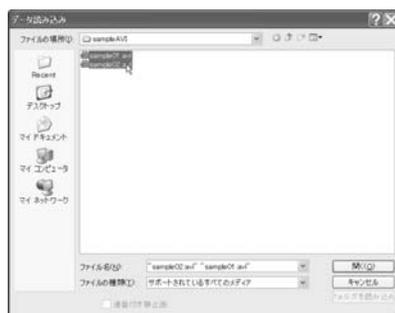
→「データ読み込み」ウィンドウが表示されます。



2

使用するビデオクリップを選択し、[開く]をクリックしてください。

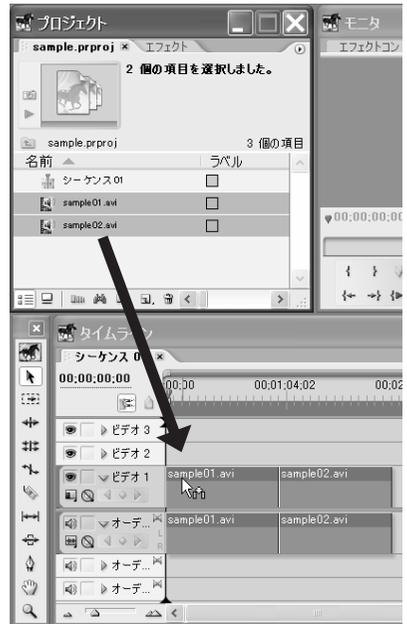
→「プロジェクト」ウィンドウにビデオクリップが追加されます。



## 3

「プロジェクト」ウィンドウのビデオクリップをすべて選択し、「タイムライン」ウィンドウ内の「ビデオ1」ライン上にドラッグアンドドロップしてください。

→「タイムライン」ウィンドウ上にトラックが配置されました。



# ビデオエフェクトの使い方

Adobe Premiere Pro Plug-inをインストールすることで追加されるビデオエフェクトの使用方法を説明します。追加されるビデオエフェクトはCanopus Title Motion FilterとCanopus Video Filter (ルミナンスキー、クロマキー、ピクチャー イン ピクチャー)の2種類があります。

## ビデオエフェクトを適用する

タイムライン上のトラックにビデオエフェクトを適用する方法を説明します。

1

メインウィンドウ内左上の「プロジェクト」ウィンドウ内の[エフェクト]タブをクリックしてください。

→組み込まれているエフェクト類が一覧表示されます。



## 2

[ビデオエフェクト] フォルダを展開して [Canopus] フォルダ内の [Canopus Title Motion Filter] と [Canopus Video Filter] を表示してください。

#### ◇オーディオエフェクト

オーディオトラックに特殊効果を与えます。

#### ◇オーディオトランジション

オーディオトラック同士のつなが目に特殊効果を与えます。

#### ◇ビデオエフェクト

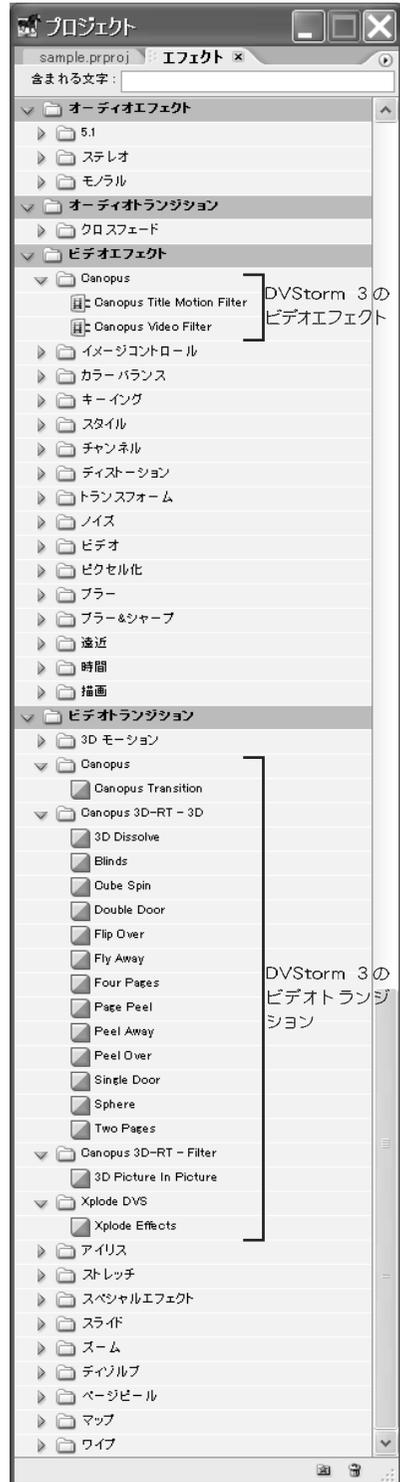
ビデオトラックに特殊効果を与えます。

※DVStorm 3をインストールすると「Canopus」フォルダが追加されます。

#### ◇ビデオトランジション

ビデオトラック同士のつなが目に特殊効果を与えます。

※DVStorm 3をインストールすると「Canopus」「Canopus 3D-RT-3D」「Canopus 3D-RT-Filter」「Xplode DVS」フォルダが追加されます。(→p. 94)

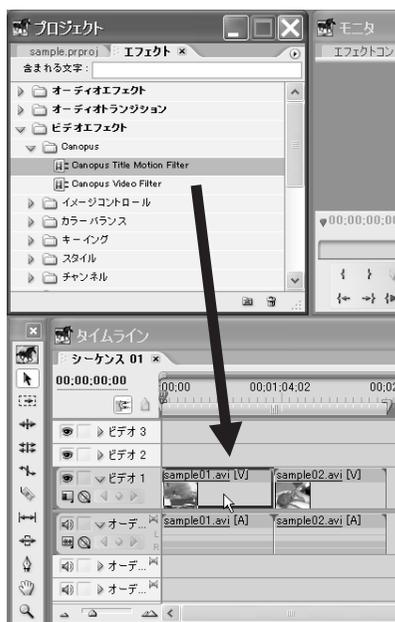


3

[Canopus Title Motion Filter]アイコンを選択し、「タイムライン」ウィンドウのトラック上にドラッグアンドドロップしてください。

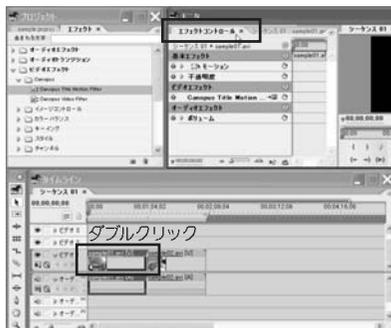
※ Canopus Video Filter の場合も操作方法は同じです。

※右図では、例として「Sample01.avi」というトラックにエフェクトを適用しています。



4

エフェクトを適用した「タイムライン」ウィンドウのトラックをダブルクリックすると、「モニタ」ウィンドウ上の左側のモニタに選択したトラックが表示されます。次に「モニタ」ウィンドウ内の[エフェクトコントロール]タブをクリックしてください。



5

[ビデオエフェクト]項目内に[Canopus Title Motion...]と表示されていることを確認し、[+]をクリックしてください。



## 6

各ビデオエフェクト用の設定ダイアログが表示されます。

## Canopus Title Motion Filter を使う

※ Premiere のタイトル機能を使用した場合は、白アルファ・黒アルファが自動的に設定されます。

## 1

前項の手順に従い、トラックに [Canopus Title Motion Filter] を適用し、設定画面を表示してください。

→「Title」ウィンドウが表示されます。



## 2

設定後 [OK] をクリックしてください。

→設定したエフェクトが適用されました。

## NOTE

設定画面で In/Out エフェクトのスピードを設定した後、クリップの長さを設定した In/Out エフェクトのスピード設定した合計値よりも短くなった場合の映像の挙動は、設定画面で指定したスピードで反映されます。

具体的な例を下記に示します。

- 1) クリップの長さを 4 秒とします。
- 2) そのクリップにタイトルモーションフィルタの設定を行います。  
In : エフェクトのスピード 4 秒  
Out : エフェクトのスピード 0 秒
- 3) クリップの長さを 2 秒に変更します。
- 4) Preview すると設定画面で設定された [In] エフェクトのスピード 4 秒の効果で映像出力されます。
- 5) 再度、設定画面を開けると自動的にスピード設定をクリップした時間で表示されます。クリップされる仕方は、[Out] エフェクトのスピードを優先して短くしていきます。

## Canopus Video Filter を使う

1

前々項の手順に従い、トラックに[Canopus Video Filter]を適用し、設定画面を表示してください。

→「Video Filter」ウィンドウと「Preview」ウィンドウが表示されます。



2

ルミナンスキーを使用する場合：手順3へ

クロマキーを使用する場合：手順4へ

ピクチャーインピクチャーを使用する場合：手順5へ

3

ルミナンスキーを使用する場合は[Luminance key]をクリックしてください。

→「ルミナンス キーの設定」ウィンドウが表示されます。

→設定後[OK]をクリックしてください。



4

クロマキーを使用する場合は [ChromaKey] をクリックしてください。

→「クロマ キーの設定」ウィンドウが表示されます。

→設定後 [OK] をクリックしてください。



5

ピクチャー イン ピクチャーを使用する場合は [P in P] をクリックしてください。

→「ピクチャー イン ピクチャー」ウィンドウが表示されます。

→設定後 [OK] をクリックしてください。



6

手順1の「Video Filter」ウィンドウに戻りますので [OK] をクリックしてください。

→設定したエフェクトが適用されました。

## NOTE

設定したビデオエフェクトを消去にする場合は、「モニタ」ウィンドウ内の「エフェクトコントロール」タブで行います。消去したいビデオエフェクトの文字上で右クリックし、表示されるメニューから [消去] を選択してください。



# ビデオトランジションの使い方

Adobe Premiere Pro Plug-in、Adobe Premiere Pro 3D RT、Adobe Premiere Pro 3D RT Filter、Xplode DVStormをインストールすることで追加されるビデオトランジションの使用方法を説明します。追加されるビデオエフェクトは「Canopus トランジション」「Canopus3D RT 3D トランジション」「Canopus3D RT Filter トランジション」「Xplode DVStorm トランジション」の4種類があります。

## ビデオトランジションを適用する

タイムライン上のトラックにビデオトランジションを適用する方法を説明します。

**1**

メインウィンドウ内左上の「プロジェクト」ウィンドウ内の[エフェクト]タブをクリックしてください。

→組み込まれているエフェクト類が一覧表示されます。



## 2

[ビデオトランジション]フォルダを展開して  
[Canopus]フォルダ内の[Canopus Transition]  
を表示してください。

#### ◇オーディオエフェクト

オーディオトラックに特殊効果を与えます。

#### ◇オーディオトランジション

オーディオトラック同士のつながぎ目に特殊効果  
を与えます。

#### ◇ビデオエフェクト

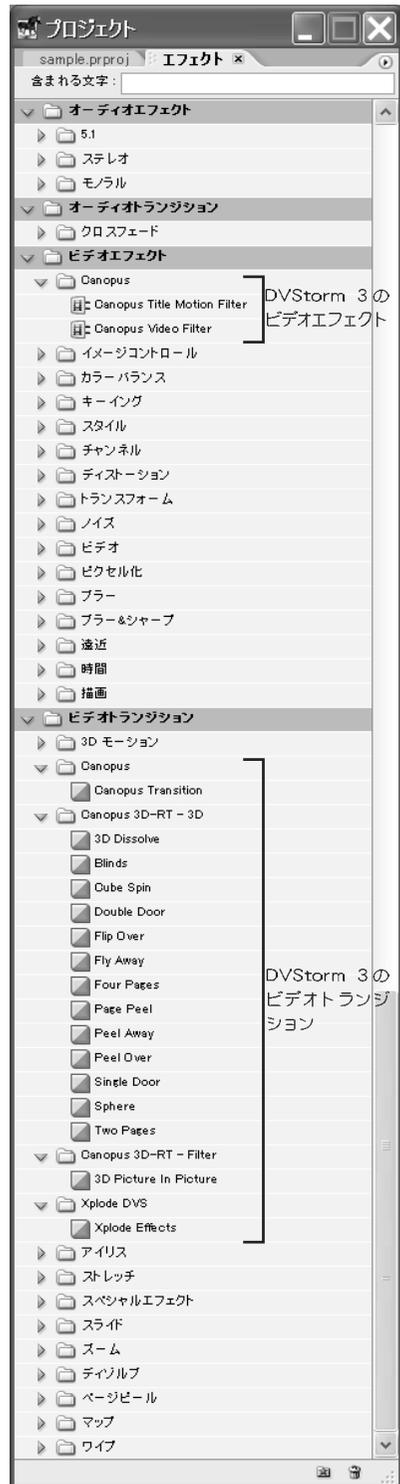
ビデオトラックに特殊効果を与えます。

※DVStorm 3をインストールすると「Canopus」フォルダが追加され  
ます。→p. 88

#### ◇ビデオトランジション

ビデオトラック同士のつながぎ目に特殊効果を与  
えます。

※DVStorm 3をインストールすると「Canopus」「Canopus 3D-RT-3D」  
「Canopus 3D-RT-Filter」「Xplode DVS」フォルダが追加されます。

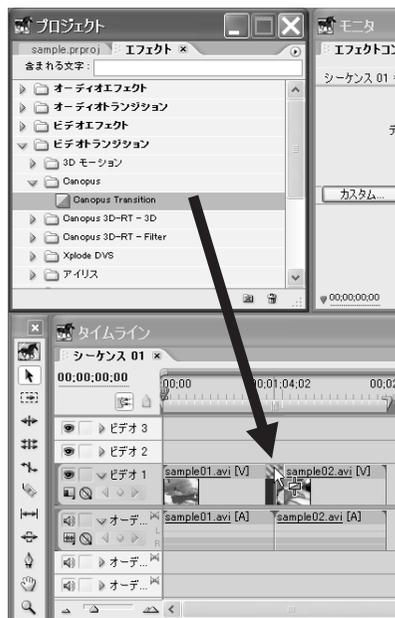


## 3

[Canopus Transition] アイコンを選択し、「タイムライン」ウィンドウのトラックとトラックの境界線上にドラッグアンドドロップしてください。

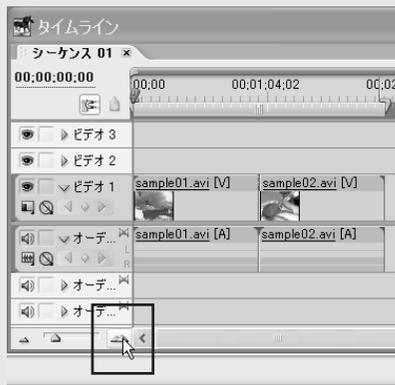
※どのビデオトランジションの場合でも操作方法は同じです。

※右図では、例として「Sample01.avi」「Sample02.avi」というトラックの繋ぎにトランジションを適用しています。適用したトランジションは紫色の縞模様のオブジェクトとしてタイムライン上に表示されます。



## NOTE

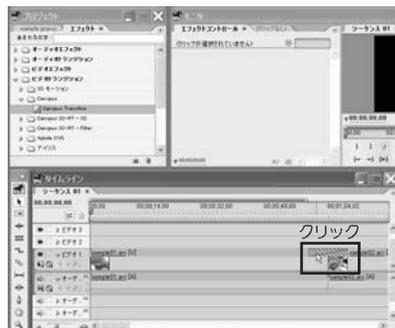
適用したトランジションのオブジェクトが視認できない場合は、を何度かクリックし、「タイムライン」ウィンドウの表示倍率を拡大してください



## 4

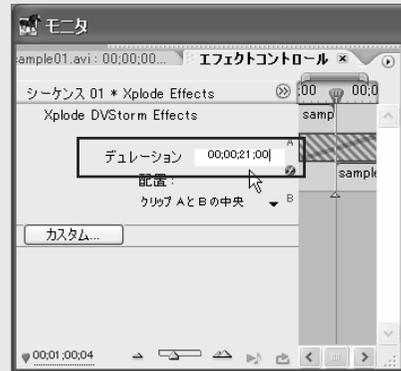
適用したトランジションのオブジェクトをクリックしてください。

→「モニタ」ウィンドウ内の「エフェクトコントロール」タブがアクティブになり、適用したトランジションのステータスが表示されます。



## NOTE

適用したトランジションの尺(時間的長さ)、トラック境界上の配置方法は「エフェクトコントロール」タブ内の[デュレーション]と[配置]でそれぞれ設定することができます。



5

[カスタム]をクリックしてください。



6

各ビデオトランジション用の設定ダイアログが表示されます。

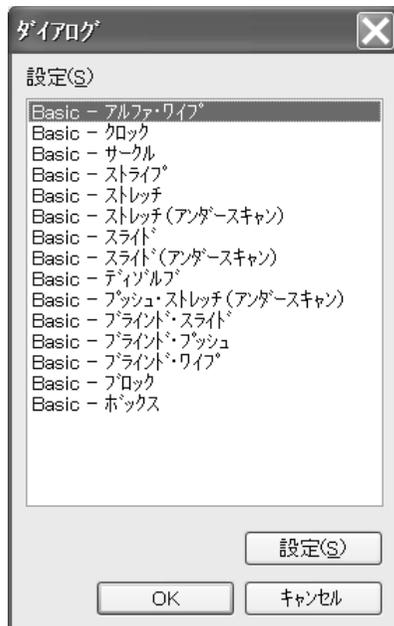
※次項以降で各ビデオトランジション用の設定ダイアログについて説明します。

## Canopus Transition を使う

1

p. 94 の「ビデオトランジションを適用する」の手順に従い、2つのトラック境界に [Canopus] フォルダ内の Canopus Transition を適用し、設定画面を表示してください。

→「ダイアログ」ウィンドウが表示されます。



2

設定からトランジションの種類を選択し、[設定] をクリックしてください。

→各トランジションの設定画面が表示されます



3

設定後 [OK] をクリックしてください。

→手順1の「ダイアログ」ウィンドウに戻ります。

4

[OK] をクリックしてください。

→設定したトランジションが適用されました。

## Canopus 3D RT 3Dを使う

1

p. 94の「ビデオトランジションを適用する」の手順に従い、2つのトラック境界に[Canopus 3D-RT-3D]フォルダ内のいずれかのトランジションを適用し、設定画面を表示してください。  
→「Canopus 3D-RT-3D」ウィンドウが表示されます。



2

設定後[OK]をクリックしてください。  
→設定したトランジションが適用されました。

## Canopus 3D RT Filterを使う

1

p. 94の「ビデオトランジションを適用する」の手順に従い、2つのトラック境界に[Canopus 3D-RT-Filter]フォルダ内の[3D Picture in Picture]を適用し、設定画面を表示してください。  
→「Canopus 3D-RT-3D」ウィンドウが表示されます。



2

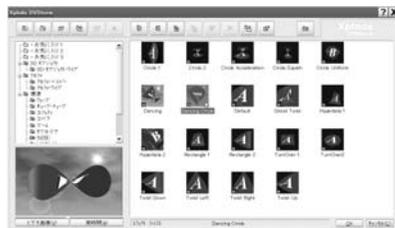
設定後[OK]をクリックしてください。  
→設定したトランジションが適用されました。

## Xplode DVStorm を使う

1

p. 94 の「ビデオトランジションを適用する」の  
手順に従い、2 つのトラック境界に [Xplode  
DVS] フォルダ内の [Xplode Effects] を適用し、  
設定画面を表示してください。

→「Xplode DVStorm」ウィンドウが表示されます。



2

ウィンドウ左のツリーから適用したいトランジションの分類名を選択してください。

※手順1の図では「標準」に分類されている「ツイスト」を選択しています。

3

ウィンドウ右側に、選択した分類に属するトランジションが一覧アイコン表示されます  
ので、適用したいトランジションをクリックしてください。

→詳細設定画面が表示されます。

※手順1の図では「ツイスト」に属する「Dancing Circle」を選択しています。

4

設定後 [OK] をクリックしてください。

→「Xplode DVStorm」ウィンドウに戻ります。

※設定したトランジションは適用されましたが、このカスタム設定は  
一時保存されている状態であり、その後再利用できません。ここから  
は未保存のカスタム設定を保存して再利用できる状態にする方法  
を説明します。



5

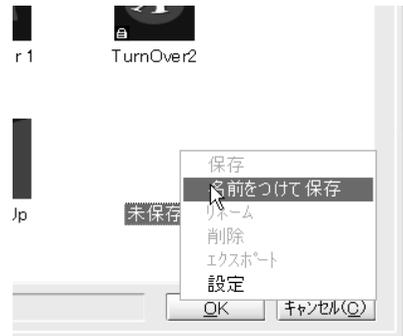
ウィンドウ右側の一覧の末尾に [未保存] アイコン  
が表示されます。



6

[未保存]アイコンを右クリックし、[名前を付けて保存]を選択してください。

→[未保存]アイコンが適用したトランジションのアイコンに変わり、アイコン名が入力待ちとなります。



7

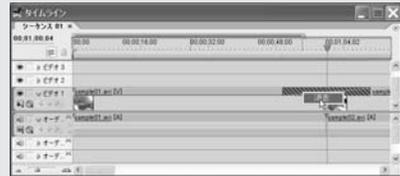
任意の名前を入力し[OK]をクリックしてください。

※「Xplode DVStorm」ウィンドウは、Explorerのように操作することができ、カスタマイズしたトランジションの整理などに便利です。よく使用するカスタム設定トランジションは「お気に入り」フォルダに入れるなどしてください。



## NOTE

設定したビデオトランジションを消去にする場合は、「タイムライン」ウィンドウ上にあるトランジションのオブジェクトを右クリックし、「消去」を選択します。





## CHAPTER7

# APPENDIX

- ・ハードウェア仕様一覧

# ハードウェア仕様一覧

デジタルビデオ	形式	DV / DVCAM
	入出力端子	i.LINK 4ピン ×1
	データ圧縮方式	ハードウェアDVコーデック (1/5 DV圧縮)
	ビデオサイズ	720×480ピクセル (NTSC) 720×576ピクセル (PAL)
アナログビデオ	入力端子	ミニDIN7ピン×1 (ケーブルを直接接続可)
		RCAピン(コンポジット) (付属のアナログ端子変換ケーブルを使用します)
	出力端子	ミニDIN7ピン×1
		コンポーネントBNC×1 (コンポーネント出力ボード取り付けには、PCIスロットを一つ使用します)
ビデオサイズ	720×480ピクセル (NTSC) 720×576ピクセル (PAL)	
アナログオーディオ	データ	32/44.1/48kHz 16ビット 2ch
		32kHz 12ビット 2ch (DVデータフォーマットは4chですが、入力できるのはメインの2chのみで、サブの2chには無音が入ります)
	入力端子	ステレオミニジャック×1
	出力端子	ステレオミニジャック×1 (ミニジャック → RCAピン変換ケーブル付属)
使用資源	割り込み	IRQ 1つを使用
最大消費電流		+5V 2.40A, +12V 100mA, -12V 30mA
ボード長		212mm